

# 令和2年度 事業報告書

(令和2年4月～令和3年3月)

1. 法人本部 P 1
2. 障害者支援施設 沼津のぞみの里 P 4
3. 生活介護事業所 沼津のぞみの園 P 9
4. グループホーム のぞみの家 P 1 3
5. 障害児入所施設 沼津市立あしたか学園 (指定管理) P 1 7
6. 生活介護事業所 いずみ P 2 2
7. 生活介護事業所 ビーンズ P 2 6
8. 就労継続支援B型及び生活介護事業所 エンゼルらんぷ P 2 9
9. 生活介護(重心利用型)及び障害児通所支援事業所 ミルキーウェイ P 3 1
10. 就労継続支援B型事業所 ころみファーム P 3 5
11. 障害児通所支援事業所 伊豆の国市児童発達支援センター (指定管理)  
愛称: きららか P 3 8
12. 生活介護事業所 ナラティヴ P 4 3
13. 相談支援事業所 サポートセンター こげら P 4 6
14. 相談支援事業所 なのはな相談室 P 4 7
15. きぼう青年学級 活動実績報告 P 4 9
16. 地域公益事業 事業報告 P 5 0
17. 附属明細書 P 5 1

社会福祉法人輝望会

理事長 越川 年

静岡県沼津市今沢365-1

TEL : 055-969-0225

# 1.法人本部事業報告

## (1)理事会・評議員会

開催日	会名	議案・報告事項
5月28日	第160回理事会	議案第1号 令和元年度事業報告及び監事監査報告 議案第2号 令和元年度収支決算認定及び監事監査報告 議案第3号 社会福祉充実残額の算定結果 議案第4号 経理規程の一部改正 議案第5号 新型コロナウイルス感染症に伴う諸規程の一部改正 議案第6号 役員等報酬規程の一部改正 議案第7号 第70回定時評議員会の決議事項と開催方法 報告事項 ①理事長専決事項②きぼう青年学級入札結果報告 ③監査等報告④事故報告⑤児童サービス事業所 評価等の結果報告⑥福祉サービス第三者評価受審 結果報告⑦C&Cきぼう改修工事の進捗状況
6月19日	第70回 定時評議員会 (決議の省略)	議案第1号 令和元年度収支決算認定 議案第2号 社会福祉充実残額の算定結果 議案第3号 役員等報酬規程の一部改正 報告事項 監事監査報告
8月26日	第161回理事会	議案第1号 令和2年度8月補正予算(第1次補正予算) 議案第2号 のぞみの家運営規程の一部改正 議案第3号 ナラティブ運営規程の制定 議案第4号 育児・介護休業などに関する規程の一部改正 議案第5号 ころみファーム利用者工賃分配規程の一部改正 報告事項 ①理事長専決事項②令和2年度4月～6月の事業報告 ③令和2年度4月～6月の収支報告④事故報告
9月10日	第162回理事会 (決議の省略)	議案第1号 法人の主たる事務所の移転 議案第2号 定款変更 議案第3号 評議員会(第71回)
9月25日	第71回 評議員会 (決議の省略)	議案第1号 法人の主たる事務所の移転 議案第2号 定款変更
11月26日	第163回理事会	議案第1号 令和2年度第2次補正予算 議案第2号 沼津のぞみの里運営規程の一部改正 議案第3号 定款変更と定款別表への追加 議案第4号 評議員会(第72回) 議案第5号 育児・介護休業などに関する規程の一部改正 議案第6号 C&Cきぼうの研修室と地域交流室 報告事項 ①理事長専決事項②監事監査報告③実地指導報 告④令和2年度7月～9月の事業報告⑤令和2年度 7月～9月の収支報告⑥事故報告⑦その他の報告
12月14日	第72回 評議員会 (決議の省略)	議案第1号 定款変更と定款別表への追加
2月3日	第164回理事会	議案第1号 制限付き一般競争入札実施規程の一部改正 議案第2号 ビーンズ空調設備更新工事の件 議案第3号 令和2年度3月期賞与支給 議案第4号 サポートセンターこげらの地域活動支援事業 議案第5号 職員の勤続表彰方法等の一部変更 報告事項 ①理事長専決事項②令和2年度10月～12月の事業 報告③令和2年度10月～12月の収支報告④事故報告 ⑤その他の報告事項

3月23日	第165回理事会	議案第1号 議案第2号 議案第3号 議案第4号 議案第5号 議案第6号 議案第7号 報告事項 連絡事項	令和2年度3月補正予算(第3次補正予算) 令和3年度事業計画 令和3年度予算 給与規程の一部改正 きぼう青年学級運営事業者への応募 ビーンズ空調設備更新工事請負業者との契約締結 ミルクィウェイ日中一時支援事業運営規程の制定 ①職員の異動及び採用等について②理事長専決事項③懲戒審査委員会の報告 令和3年度の評議員会、理事会等の予定
-------	----------	---	---

## (2) 主な事業

4月1日	任命式
4月27日	監事監査研修
5月13日	監事監査(山田監事、木村監事出席)
6月19日	法人基礎研修(障害者福祉関連法・障害者差別解消法)
7月4日	法人全体研修(Webによる開催)
7月10日	法人基礎研修(個別支援計画書)
7月17日	法人基礎研修(リスクマネジメント・介護技術)
7月31日	法人基礎研修(相談支援事業所の役割)
9月11日・25日	法人基礎研修(行動障害)
9月24日～25日	C&Cきぼう竣工式・見学会
11月12日	監事監査(山田監事、木村監事出席)
3月5日	ビーンズ空調設備更新工事の入札
3月26日～31日	新規採用職員研修(4日間)
毎月	管理者連絡会議、事務員連絡会議、税理士監査

## (3) 職員の状況

### ①職員数

単位:人

	沼津 のぞみの里	こげら	沼津 のぞみの園	のぞみの家	沼津市 あしたか学園	いずみ	ビーンズ
正規職員	28	2	15	4	31	9	7
臨職・パート	15	2	14	11	2	12	9
合計	43	4	29	15	33	21	16
退職職員	6	0	4	3	3	1	0
採用職員	2	0	1	2	4	1	1

単位:人

	エンゼル らんぷ	ミルクィ ウェイ	こころみ ファーム	伊豆の国市 児童発達支援 センター	なのはな 相談室	ナラティブ	合計
正規職員	4	13	2	8	3	4	130
臨職・パート	7	9	5	5	0	2	93
合計	11	22	7	13	3	6	223
退職職員	0	3	0	3	0	0	23
採用職員	0	2	0	2	0	0	15

\*人数は令和3年3月31日時点(退職・採用職員は令和2年4月1日からの累計)



②医療・福祉関連資格保有者

	看護師・ 准看護師	理学療法士	公認心理士	臨床心理士	社会福祉士	精神保健 福祉士	介護福祉士
保有者数	10	1	2	1	23	6	35
増減	1	0	0	0	0	0	0

	介護支援 専門員	知的障害者 援助専門員	教諭	保育士
保有者数	5	22	21	31
増減	0	0	0	0

\*人数は令和3年3月31日時点(増減は令和2年4月1日時点との比較)

(4)慶弔関係

- ・祝儀(職員)、香典(職員・利用者関係) 育成会総会等
- ・その他 告別式生花(職員・利用者関係)

(5)苦情受付

0件 (各施設苦情受付担当者の受付件数)



## 2. 沼津のぞみの里事業報告

### (1) 利用状況

① 自立支援給付関係 単位: 開所日数 日/月、平均利用者数 人/日

生活介護	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開所日数	22	21	22	23	21	22	22	22	23	21	20	23
平均利用者数	47.3	47.1	48.7	47.8	48	48	45.1	44.9	44.1	46.7	47.3	45.8

\*3月時点 定員: 50人 契約者数: 49人

施設入所支援	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開所日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31
平均利用者数	47.3	47.1	48.5	47.6	47.9	47.9	46.8	47.6	46.7	47.1	48.9	48.6

\*3月時点 定員: 50人 契約者数: 49人

短期入所	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開所日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31
平均利用者数	2.6	3	2.2	2.5	2.1	2.6	2.9	2.2	2.6	2.7	3.5	4.1

\*3月時点 定員: 5人 契約者数: 46人

② 地域生活支援事業 単位: 総利用者数 人/月

沼津市地域活動支援事業	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総利用者数	0	0	1	2	0	0	2	1	0	0	1	1

③ その他の事業

なし

### (2) 主な行事、研修等

① 施設行事

5月	各家庭個別電話面談
10月13日	吉田貴子さんを偲ぶ会
12月5日～6日	障害者週間清掃活動取り組み
12月23日	令和2年お疲れ様会
12月26日～1月3日	冬季ジョイウィーク
1月15日	新年会
2月～3月	初春のグループレクリエーション
3月12日	お花見

② 外部大会、会合等

7月2日	愛護ギャラリー打ち合わせ
9月10日	愛護ギャラリー打ち合わせ
9月23日	愛護ギャラリー打ち合わせ
10月30日	沼津市福祉施設連絡会 (ZOOM)
12月8日	沼津市自立支援協議会 (地域移行部会)
12月14日	愛護ギャラリー搬入
3月18日	沼津市自立支援協議会 (地域移行部会)
3月23日	沼津市自立支援協議会 (地域移行部会)

③ 研修会、講演会 (法人内外)

8月12日	コロナ感染対策セミナー (聖隷福祉事業団主催)
10月9日	看護の資質向上研修 (静岡県看護協会主催) 2人
10月29日	安全運転管理者講習 (静岡県公安委員会主催)
10月30日	医療看護講座 (ZOOM) (静岡県知的障害者福祉協会主催)

12月15日	「個別支援計画を上手に使う」講座(ZOOM)(静岡県知的障害者福祉協会主催)
12月16日	福祉施設研修交流会(ZOOM)(沼津市福祉施設連絡協議会主催)
12月17日	障害児者福祉サービス事業所説明会(集団指導:WEB配信)
2月5日	障害の特性を理解する講座(ZOOM)(静岡県知的障害者福祉協会主催)
2月15日	入居者家族とのより良い関係作り講座(ZOOM)(静岡県社会福祉協議会主催)

④その他

	なし
--	----

(3)安全対策

9月1日	総合防災訓練
9月9日	消防設備点検
11月4日	防災訓練(施設防災の日)
12月10日	空調機点検
3月17日	貯水槽点検
毎月	電気工作物巡視点検
3ヶ月ごと	プレイルームワックスがけ
隔月	食堂ワックスがけ
毎月2回	浄化槽点検
隔月	給水設備点検

(4)保健衛生

6月中	夜勤対象職員健康診断
8月16日	害虫駆除
10月15日	健康診断
11月9日	インフルエンザ予防接種
定期的な内容	嘱託医:嘱託医精神科往診月2回 細菌検査:毎月

(5)監査等

	なし
--	----

(6)工事・備品関係(10万円以上固定資産物品の購入・工事・修繕)

4月	建物総合管理業務委託	189,300	円
5月	建物総合管理業務委託	189,300	円
6月	建物総合管理業務委託	189,300	円
7月	建物総合管理業務委託	189,300	円
	パソコン(2台)	251,000	円
	パソコン(1台)	107,000	円
	パソコン(1台)	123,000	円
8月	建物総合管理業務委託	189,300	円
	車両1台(シエンタ)	1,946,512	円
9月	建物総合管理業務委託	225,300	円
10月	建物総合管理業務委託	225,300	円
11月	建物総合管理業務委託	225,300	円
12月	建物総合管理業務委託	225,300	円
1月	各所非常照明交換	840,000	円
	温水循環ポンプ交換	270,000	円
	建物総合管理業務委託	225,300	円
2月	建物総合管理業務委託	225,300	円
3月	建物総合管理業務委託	225,300	円
	合 計	6,061,112	円

## (7) 作業収入の実績

アルミ缶(つつみ)	8,917	円
自主製品(パイン)	6,510	円
合 計	15,427	円

(8) ボランティア・実習生・見学者等  
・ボランティア

	なし
--	----

## ・見学

	なし
--	----

## ・実習生 施設実習

7月6日～7月16日	浜松学院短期大学 2年生 保育実習2名
7月18日～7月28日	浜松学院短期大学 2年生 保育実習2名
8月3日～8月7日	小田原短期大学 2年生 保育実習
8月17日～9月9日	静岡県立短期大学 2年生 相談援助実習1人
9月14日～9月22日	常葉大学 3年生 保育実習1人
11月5日～11月17日	東海大学短期大学部 2年生 保育実習2人
11月19日～12月1日	東海大学短期大学部 2年生 保育実習2人
2月18日～2月23日	静岡県立短期大学 1年生 相談援助実習1人

## ・特別支援学校実習

	なし
--	----

## ・学生福祉体験

	なし
--	----

## ・研修

	なし
--	----

## (9) 事故報告(利用者に関わる事故)

対象者	月日	事故の内容	再発防止策
利用者	5月11日	支援員介助による爪切り時の右手3本に渡る深爪。受診には至っていないが赤くなってしまった。	新人支援員によるものだったため、爪切りマニュアルを本人と再確認した。
利用者	5月21日	利用者居室付近に薬が落ちているのを発見。口に入っていない可能性があった。	当事者職員と投薬方法の再確認を行った。会議にて周知を図った。
利用者	5月22日	支援員が利用者の行動を制止する際に(床に落ちたものを口にしようとした)制止した手から利用者がすり抜け椅子に額をぶつけ裂傷・出血。通院を行った	当事者支援員と声掛けの方法を確認。ご本人の座る場所をぶつけた場所から離す再検討を行い、変更も行った



利用者	6月3日	散歩公園先でベンチで座っていた方の食べ物を利用者が食べてしまい支援員による謝罪を行った	散歩を行う際の注意点の再確認を行い、再度引率方法を検討。検討内容の周知を図った。
利用者	6月13日	就寝薬が落ちていた誤薬。ゼリーを使用して内服していたが口から出た形跡があった。	配薬者と口腔内を確認後さらに水分摂取をしてもらい内服確認を行う確認をした。内容の周知を図った
利用者	7月17日	食堂入り口付近で口に入った形跡のない薬を発見。該当者が3名あったが特定はできなかった。	配薬マニュアルの再確認。口腔内確認と投薬後の袋の確認を必ず行う事を周知した
利用者	7月25日	食堂流しに胃に入った形跡のある薬が発見される。反芻をする利用者の物の可能性が高かったが判別までは出来なかった	反芻のある利用者の物だった可能性が高かった為、下膳時まで付き添いをする点を再確認した
利用者	8月26日	足の巻き爪が刺さっていた為切ったがその後切った周辺から出血が見られた。ふき取りでその後の出血はなかった。	巻き爪の対応については医務と相談し対応していく事を確認した。
利用者	9月9日	夕食誘導時に利用者の左手の甲の腫れを発見。通院すると左手中指の骨折が判明。どこで骨折したかは判明できなかった。	ご本人の所在を常に確認し、廊下で寝てしまっている際は危険でない場所へ誘導する確認をした。
利用者	10月4日	利用者同士の掴み合いに職員が間に入った際に1名が転倒。右大腿骨頸部骨折となり入院、手術となった。	仲裁に1名で対応に当たったが応援職員を呼び複数人で関わる確認を行った。
利用者	11月19日	発作記録が抜けており2日連続で起きた場合に飲む薬の投与が抜けてしまった。	発作記入のボードの追加記入を行い職員間で周知しやすいようにした。
利用者	11月20日	発作記録が抜けており3日連続で起きた場合に飲む薬の投与が抜けてしまった。	発作記入のボードの追加記入を行い職員間で周知しやすいようにした。
利用者	1月31日	リハビリ病院退院後の利用者の入浴介助中、洗い場で一人で歩行し転倒。頭部打撲があったが脳内出血等はなく大事には至らなかった。	退院直後だったため、注意事項の確認を支援会議を中心に再度行い注意事項の周知を図った。
利用者	1月29日	女性利用者が立ち上がる際のはらつきから転倒。ぐらついていた歯が転倒で抜けてしまった。	バランスが良くない事を再度周知し立ち上がりの際は特に注意し職員の介助を要する点を周知した

利用者	2月25日	女性利用者が単独歩行中、中庭側へ段差を踏み外し転倒。アスファルトに頭部をぶつける。	新規利用者だった点からアセスメントの再確認をし、移動時は単独で無く職員の介添えが必要な点を会議を通して周知した
利用者	3月6日	ショートステイ利用者に本人の夕の薬を昼食時に飲ませてしまった。配薬者で無い職員が対応した誤薬	配薬者でない職員は行わないよう再確認をマニュアルとして周知した
利用者	3月12日	利用者1名の臨時薬のセットがされていなかった。配薬職員が気づいた	薬セットを行う看護師間でチェック方法の再確認を行った。
利用者	3月23日	入浴介助中に洗い場へ移動する際に利用者と職員が転倒。小さなバケツが壊れ利用者も擦り傷を負った	歩行バランスが悪い利用者を一人で介助していたため、時間帯を複数人介助ができる時間に行う点を再周知した。

#### (10)施設の現状と課題

利用者の最高齢が76歳に達し、高齢化による介護対応の増大と、強度行動障害を抱える利用者(ショートステイ利用者も含む)支援の共存が難しくなっている。今期は転倒による利用者の骨折が起きてしまった。今後利用者が更に加齢していく状況から同じような事故に非常に注意しなければならない。新型コロナウイルス対応のため、ショートステイ・地域活動支援事業の受け入れに困難が生じているが、特にショートステイは保護者の入院理由や家庭での困難ケースなど要望が多数挙がっており、必要性に応じて受け入れを行っている。



### 3.沼津のぞみの園事業報告

#### (1)利用状況

①自立支援給付関係 単位:開所日数 日/月、平均利用者数 人/日

生活介護	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開所日数	21	18	22	21	17	21	22	20	21	19	19	23
平均利用者数	47.2	48.7	52.5	49.0	51.4	50.9	50.5	52.9	51.7	47.5	47.4	49.3

\*3月時点 定員:60人 契約者数:62人

②地域生活支援事業 単位:総利用者数 人/月

沼津市地域活動支援事業	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総利用者数	66	68	88	101	81	103	96	86	100	78	89	92

③その他の事業

該当なし

#### (2)主な行事、研修等

①施設行事等

4月1日	新しい仲間を迎える会
7月31日	納涼祭①
8月7日	納涼祭②
10月6日	愛鷹広域公園1人一鉢運動花植参加
11月18日	グループレクリエーション(ミカン狩り①)
11月20日	グループレクリエーション(岳南電車①)
11月30日	グループレクリエーション(ミカン狩り②)
12月3日	グループレクリエーション(岳南電車②)
11月30日～12月5日	障害者週間(ポスター配布・地域清掃活動・花植え等と活動報告会)
12月24日	クリスマス会
1月13日	新年会
3月31日	旅立ちの会

②外部大会、会合等

7月21日	沼津市障害者自立支援協議会居宅生活支援部会
7月30日	沼津市障害者自立支援協議会運営部会
9月23日	沼津市障害者自立支援協議会日中活動専門部会
10月20日	沼津市障害者自立支援協議会居宅生活支援部会
10月30日	沼津市福祉施設連絡協議会施設長会議(zoom)
2月25日	県知的障害者福祉協会施設長等研修会(zoom)

③研修会、講演会(法人内外)

6月15日	障害支援区分認定調査員研修
7月17日・31日・9月11日・25日	法人基礎研修
7月4日	輝望会法人職員全体研修
11月6日	静岡県知的障害者福祉協会医療看護講座(zoom)
11月19日	サービス管理責任者更新研修(静岡)
12月8日	サービス管理責任者更新研修(静岡)
12月16日	沼津市福祉施設職員研修交流会(zoom)
1月19日	福祉サービス苦情解決研修(zoom)
2月5日	静岡県知協『障害のとらえ方講座』(zoom)
2月18日・19日	甲種防火管理者新規講習
3月6日	東海ブロック集会in静岡(zoom)



3月11日	第58回東海地区知的障害関係施設職員研究協議会(zoom)
-------	-------------------------------

④その他  
該当なし

### 3)安全対策

4月25日	貯水槽清掃・給水設備点検
4月4日・6月25日	汚水処理施設管理
5月4日	ガス安全点検
5月12日	浄化槽法定検査
5月16日	電気設備保安点検
6月5日	防災無線保守点検
6月24日	厨房機器保守点検
8月22日	汚水処理施設管理
7月6日・9月14日	電気設備保安点検
11月10日	消防設備点検
10月3日・12月5日	汚水処理施設管理
10月9日・11月5日	電気設備保安点検
1月5日・3月5日	電気設備保安点検
1月23日	空調機フロン漏えい定期保守点検
2月6日	汚水処理施設管理
3月25日	小型合併処理浄化槽汚泥引き抜き清掃

### 4)保健衛生

6月26日	利用者 健康診断: 杉山病院
6月～8月	職員 健康診断: べっく医院
7月21日	害虫駆除
10月16日	インフルエンザ予防接種
3月30日	厨房の害虫駆除
定期的な内容	嘱託医:嘱託医内科往診隔月1回、 細菌検査:毎月(厨房)、職員(年1回)

### (5)監査等

10月8日	障害福祉サービス事業所等の実地指導(書類審査)
-------	-------------------------

### (6)工事・備品関係(10万円以上固定資産物品の購入・工事・修繕)

5月	小型合併処理浄化槽マンホール交換工事	198,000円
5月	屋外電動庇取り外し工事	242,000円
5月	高圧引込設備(PAS・高圧ケーブル)改修工事	1,408,000円
6月	誘導灯設備改修工事	132,000円
6月	職員駐車場補修工事	220,000円
11月	厨房シャッター取替費用	528,000円
3月	事務所ドア付け替え修理	110,000円
3月	誘導灯設備改修費用	116,600円
	計	2,954,600円

## (7) 作業収入の実績 R2. 4月～6月 R2. 7月～9月 R2.10月～12月 R3.1月～3月

アルミ缶つぶし (つつみ・ツツミ金属)	29,811円	21,681円	51,865円	24,910円
自主製品	7,670円	8,750円	30,050円	30,275円
バザー・まつり	0円	0円	0円	0円
パイン	3,400円	2,600円	2,650円	930円
合計	40,881円	33,031円	84,565円	56,115円

## (8) ボランティア・実習生・見学者等

## ・ボランティア

6月7日	西沢田自治会 園舎周りの草刈
(その他) 6月16日	沼津市赤十字奉仕団来所
12月9日	沼津市赤十字奉仕団来所

## ・見学

--	--

## ・実習生 施設実習

8月3日～7日	小田原短期大学施設実習 2人
8月17日～21日	小田原短期大学施設実習 1人
8月24日～28日	小田原短期大学施設実習 2人
8月31日～9月15日	静岡英和学院大学保育実習 1人
9月14日～25日	常葉大学保育実習 1人
1月18日～2月17日	大原介護福祉専門学校 1人
2月18日～26日	県立短大ソーシャルワーク実習 1人

## ・特別支援学校実習

10月5日～7日	沼津特別支援学校高等部3年生 1人
12月7日～11日	沼津特別支援学校高等部3年生 1人

## 体験実習

6月16日	社会人 1人
-------	--------

## ・研修

--	--

## (9) 事故報告

対象者	月日	事故の内容	再発防止策
利用者・(グループ担当職員)	4月24日	利用者が送迎車で帰宅した後に、帰りに服用している薬がグループのかご内に残っていることに気づく。帰りに服用していただくのを忘れてしまった為、自宅に届けて服用していただいた。	①カゴに新たに薬用のタグをつける。②帰りの時間にかごを持って行った職員が本人の薬係とする。③事務所から薬を持っていく時、袋を返す時に声を出して行う。④グループ職員全員で確認しあう。
利用者・(グループ担当職員)	6月17日	午前10:30頃、ご本人がいつも座っているソファに薬が落ちていた。少し溶けている状態であったため、前日の薬が口から出てしまった物と思われる。	服薬の時は、確実に口に入れ、飲み込むまで確認する。その後、口の中や衣類、周囲も確認する。



利用者(2人)	9月2日	午前の活動中、同じグループの二人が隣り合わせの席で絵を描いていたが、紙の取り合いになり、一方の利用者が相手の右腕を噛んでしまった。けがの具合は、血が滲む位であったが、糖尿病の為直りの悪い方であったので、ご家族が通院し化膿止めが処方された。	他の利用者の声などの影響で我慢が重なる中での対人トラブルと考えられる。日常的にグループ内の対人関係に配慮して、個々のイライラ感が募らないように配慮していく。活動室内には職員が2人いるようにし、とっさの時の対応ができるようにしていく。
利用者	10月20日	缶つぶしの活動で、職員1名で二人の利用者を対応していて、1人の対応をしていたところ、もう一方の方が手袋を外してアルミ缶を裂いて、右手中指を切ってしまった。	・手袋をするタイミングと外すタイミングを明確にする支援をする。 ・缶に触る機会の少ない缶つぶし機に変更する。 ・十分な人数の職員配置で行う。 ・缶の量を調節し、終わりを明確化する。
職員	10月30日	マイクロバスにて、帰りの送迎中に縁石に乗り上げ、左前のタイヤがパンクしてしまった。次の降車場所まで気づかず走り、職員利用者に怪我はなかったが、送迎続行は出来ず、ご家族に迎えに来ていただいた。	送迎コースには、道幅が狭い箇所もあるため、速度を抑えて走行することが必要。また、到着予定時間より遅れていても、安全運転を最優先にすることを徹底。大きく遅れる場合は、慌てず園に連絡する。
職員	1月18日	敷地駐車場内にて、車両と車両の間にマイクロバスを停めようとして、一度前に出て切り返して後退したところ、バスの左後方部分を隣に停車してあったキャラバンと接触、バスのブレーキランプとキャラバンのフロントランプが破損してしまった。	・バスを後退させる時は、添乗職員が必ず車外に降りて誘導する。 ・駐車場内の車両の駐車位置を再検討する。
職員	2月20日	雨天だったため、玄関前にマイクロバスの向きを変えて停めようとした。後退は添乗職員が誘導したが、前進の時に左前方に停めてあったキャラバンに気づかずにフェンスに気づかず、バスno左を擦ってしまった。	方向転換は、十分なスペースのある場所で行う。後方だけでなく、見えにくい所は添乗職員に確認してもらう。

## (10) 施設の現状と課題

後期は、例年同様に大きな行事等がないため、のぞみの園全体としては引き続き新型コロナウイルス感染の予防に配慮しながら日常の生活を過ごしてきました。個々の利用者の課題としては、やはり、ご家族の高齢化によって必要となる支援がどんどん押し寄せている状況です。通院の付き添いやそもそも利用者の健康状況の把握すら困難など、すぐにでも在宅生活を続けていく事が困難になる事が予想される利用者が数名おり、長期の短期入所利用している方、入浴支援などをのぞみの園で行っている方が徐々に増えている状況です。ご家族亡き後・ご家族と一緒に暮らすことが困難になった時の次の住処を考えることが急務であると感じています。のぞみの園だけでなく、沼津市を始め関係機関と共通の認識を持って考えて行く事が必要だと思えます。また、令和2年度は、電気関係・浄化槽関係など園舎建て替え後の経年による改修等を何カ所か実施してきました。引き続き令和3年度も、先を見越して厨房機器など壊れる前に対応していきたいと考えています。



#### 4.のぞみの家事業報告

##### (1)利用状況

①自立支援給付関係 単位:開所日数 日/月、平均利用者数 人/日

共同生活援助	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
平均利用者数	20.3	19.7	20.9	22.0	21.2	21.7	21.8	22.6	22.2	22.1	20.5	20.6	21.2

定員: 29人 契約者数: 20人(2月2人退所 3月1人退所)

##### ②地域生活支援事業

該当なし

##### ③その他の事業

該当なし

##### (2)主な行事、研修等

###### ①施設行事等

12月25日	新型コロナウイルス感染拡大防止のためゴールデンウィークの外出も中止
1月1日	新型コロナウイルス感染拡大防止のためGHサマーフェスタも中止
	クリスマス特別夕食
	新年特別夕食
	GH新年会も中止

###### ②外部大会、会合等

7月28日	新型コロナウイルス感染拡大防止のため多くが中止
9月28日	自立支援協議会地域移行部会
10月30日	自立支援協議会地域移行部会
12月11日	沼津市社会福祉連絡協議会(沼津)(Web)
12月16日	第56回東海地区知的障害関係施設職員研究協議会(Web)
12月	沼津市社会福祉連絡協議会(沼津)(Web)
12月	静岡県障害児・者福祉サービス事業者説明会(Web)
2月25日	静岡県知的障害者福祉協会 施設長研修会(Web)
3月23日	自立支援協議会地域移行部会
3月11日	東海地区知的障害関係施設職員研究協議会(Web)

###### ③研修会、講演会(法人内外)

6月11日	静岡県東部発達障害者支援センターアスタ グループホーム研修(Web)
7月2日	静岡県東部発達障害者支援センターアスタ グループホーム研修(Web)
7月4日	法人全体(Web)
11月17日	東部健康福祉センター 高次機能障害研修(Web)
11月26日	静岡県社会福祉協議会 成年後見制度応用編研修(Web)

###### ④その他

	該当なし
--	------

##### (3)安全対策

4月	ハミング・ルーチェ浄化槽点検、清掃
6月	コラボ・ホープ浄化槽点検、清掃
10月	コラボ・ホープ・ハミング・ルーチェ消防点検
9月11月	避難訓練

##### (4)保健衛生

6月	職員健康診断
8月	利用者健康診断

## (5) 監査等

該当なし	
------	--

## (6) 工事・備品関係(10万円以上固定資産物品の購入・工事・修繕)

4月28日	パル事務用電話機工事	316,800 円
3月19日	ハミング・ルーチェ居室扉鍵付け工事	168,000 円
	計	484,800 円

## (7) 作業収入の実績

該当なし		円
合	計	0 円

## (8) ボランティア・実習生・見学等

## ・ボランティア

該当なし	
------	--

## ・見学

	新グループホームパル等の個々の見学は数人あり
--	------------------------

## ・実習生 施設実習

該当なし	
------	--

## ・特別支援学校実習

該当なし	
------	--

## ・小学生福祉体験

該当なし	
------	--

## ・研修

該当なし	
------	--

## (9) 事故報告(利用者に関わる事故)

対象者	月日	事故の内容	再発防止策
利用者	5月27日	薬の飲み忘れ 日中活動先に服薬依頼を してらず、2週間昼食後の薬 が服薬されていなかった。	新しい職員へ引継ぎの際、 通院後の薬管理が徹底でき ていなかった。再度通院後 の薬管理や関係区への情 報伝達を徹底した。
利用者	8月11日	薬の飲み忘れ 就寝前の薬が配薬されてお らず、夜間世話人は気が付 いたがその対応を理解して いなかったため、後日の連 絡となり、服薬されなかつ た。	世話人は16時勤務開始時 に、配薬に間違いがないか 確認し、事務所に連絡する ことになっている。またその 時に見逃したとしても気付い た時に、緊急連絡先に電話 することになっているが、新 しい世話人にこのことが徹底 できていなかった。再度、徹 底を行った。

利用者	8月12日	<p>服薬中の落下(同ケース2件が別々の利用者で発生)</p> <p>①錠剤が清掃中に1錠見つかる</p> <p>②錠剤が1錠玄関の外で見つかる</p>	<p>錠剤が小さくまた5錠以上と数も多く手のひらから口に移す際にこぼれ、衣服に付着したと思われる。世話人は手のひらに残っていないか、衣服に付着していないか、床に落ちていないか確認したが、今回見逃したようである。まずは落下を防ぐために飲み安いように小皿を使用することに変更し、世話人にもさらに注意深く確認するよう指導した。</p>
利用者	9月2日	<p>薬の間違い</p> <p>朝食後に夕食後の薬を服薬し、更に別の職員が朝食後の薬が薬カレンダーに残っていたため、朝食後の薬を服用させ、一度に朝食後と夕食後の薬を服用させてしまった。(夕食後の薬は夏場の高温時に溶けてしまうため、薬カレンダーに配薬するのではなく、冷蔵庫から直接取り出すことにしていた。)</p>	<p>服薬の際、他利用者の支援と重なり、世話人が慌てた中での対応となり、薬保管場間違いと服薬3原則ができていなかった。薬保管場所をイレギュラーな対応として2か所にしていただけが間違いを誘発した一因であり、薬カレンダーの1か所に変更した。(保管場所をエアコンにて28度に保つ)また利用者支援が重なった場合は、時間内に終わらなくても優先順の高いものから一つずつ対応し、また生活支援員等の応援を呼ぶ等徹底した。</p>
利用者	11月16日	<p>薬の飲み忘れ</p> <p>就寝前の薬の薬でなく、朝食後の薬を服薬させてしまった。</p>	<p>基本的な服薬時の3大原則を行っていなかったため、再指導を行い自覚を促した。</p>
利用者	1月24日	<p>服薬中の落下</p> <p>錠剤が清掃中に1錠見つかる</p>	<p>基本的な服薬時の3大原則を行っていなかったため、再指導を行い自覚を促した。</p>
火災	1月27日	<p>火災</p> <p>利用者の煙草の不始末による1部屋全焼と隣室2部屋一部焼失、利用者・職員・一般入居者にケガ等はなかった。</p>	<p>暫定策として、建物内全面禁煙とするともに喫煙者の利用を止める。</p>
利用者	2月4日	<p>配薬間違い</p> <p>頓服薬と通常服薬の薬が似ており、同ボックスの中に保管していたため、間違えて服薬カレンダーに配薬した。</p>	<p>保管方法を分けるとともに、世話人は薬写真と現物が違う場合は生活支援員に確認する。</p>
利用者	3月28日	<p>薬の飲み忘れ</p> <p>就寝前の薬の薬でなく、朝食後の薬を服薬させてしまった。</p>	<p>基本的な服薬時の3大原則を行っていなかった。臨時で入る世話人にも徹底する。</p>



## (10) 現状と課題

・パル火災後、現在建物復旧中であり5月末に工事終了予定。現在 暫定的に利用者3人(喫煙しない、火の取り扱いの理解が高い人)で再開した。今後以前からの課題である高齢化・重度化へ対応した体制作り中で、パルの位置づけも再検討する。

・事業収益改善についても継続して検討中である。

制度上要求されている生活支援員への報酬が低いこと、また障害程度区分2以下では生活支援員の配置・報酬がなく、実際程度区分は低くても発達障害の方が地域で暮らすためには生活支援員の支援(配置)が必要であるがその報酬がないことが、収支上の課題である。当面が現在ある加算を利用しながら、制度改善に結びつけたい。

・世話人が依然として不足しており、処遇改善(給与)を検討中である。

## 5、沼津市立あしたか学園事業報告

### (1)利用状況

#### ①自立支援給付関係 該当なし

生活介護	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開所日数												
平均利用者数												

\*3月時点 定員: 人 契約者数: 人

施設入所支援	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開所日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31
平均利用者数	40.1	39.8	39.2	41.7	39.6	40.5	41	41.9	41.3	41.4	42.8	40.8

\*3月時点 定員: 50人 契約者数: 42人

短期入所	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開所日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31
平均利用者数	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	2	2

\*3月時点 定員: 人 契約者数: 人

#### ②地域生活支援事業

沼津市地域活動支援事業	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総利用者数	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1

#### ③その他の事業

該当なし

### (2)主な行事、研修等

#### ①施設行事

4月6日	施設内理容(理髪店来園)
4月7日	沼津特別支援学校 始業式・入学式
4月5日	今沢小・中 入学式・始業式
5月18日	沼特高等部進路打ち合わせ
5月25日	施設内理容(理髪店来園)
6月1日	今沢小学校 始業式 今沢中学校 始業式・入学式
6月15日	施設内理容(理髪店来園)
6月15日	施設内理容(理髪店来園)
7月27日	施設内理容(理髪店来園)
8月7日	沼津特別支援学校、今沢小・中 終業式
8月18日	今沢小・中 2学期始業式
8月27日	沼津特別支援学校 2学期始業式
9月7日	施設内理容(理髪店来園)
9月17日・18日	今沢中学校あしはら祭
9月30日	今沢小学校 運動会
10月9日	施設内理容(理髪店来園)
11月21日	施設内理容(理髪店来園)
12月10日	競輪選手とのもちつき大会
12月21日	施設内理容(理髪店来園)
12月23日	沼津特別支援学校 2学期終業式
12月25日	今沢小・中 2学期終業式
1月5日	今沢小・中 3学期始業式
1月6日	沼津特別支援学校始業式
1月25日	施設内理容(理髪店来園)
3月3日	卒園卒業を祝う会

3月15日	施設内理容(理髪店来園)
3月18日	今沢小学校 3学期終了式
3月19日	今沢中学校、沼津特別支援学校 3学期終了式
	※6月から個別のお楽しみ買い物実施
	※毎月第3水曜日 内科検診
	※毎月の避難訓練実施

②外部大会、会合等

	今小今中評議会
--	---------

③研修会、講演会(法人内外)

--	--

④その他

該当なし	
------	--

(3)安全対策

定期的な内容	防災訓練(火災と地震を交互に月1回)実施
	各種 委託業者による定期検査

(4)保健衛生

定期的な内容	嘱託医による健康診断(年2回)
	内科検診(月1回 第3水曜日)
	精神科検診(年3回)
	歯科検診(年2回)
	細菌検査:調理員は毎月・調理員以外と児童は年2回 調理控室を児童居室として使用している為一人に児童は毎月実施。

(5)監査等

6月23日	沼津市年度モニタリング
9月11日	沼津市外部モニタリング

(6)工事・備品関係(10万円以上固定資産物品の購入・工事・修繕)

		円
		円
合	計	円

(7)作業収入の実績

該当なし		円
		円
合	計	0円

(8)ボランティア・実習生・見学者等

・ボランティア

7月21日(火)	今沢民生員ボラ 10人
9月15日(火)	今沢民生員ボラ 9人
11月17日(火)	今沢民生員ボラ 9人
1月18日(火)	今沢民生員ボラ 10人
3月15日(火)	今沢民生員ボラ 10人



・見学


・実習生 施設実習

6月8日～19日	県立大学 1人
7月9日～21日	浜松学院大学 2人
8月17日～27日	聖徳大学 2人
8月28日～9月9日	鎌倉女子大学 2人
9月10日～9月20日	小田原短期大学 2人
10月16日～10月28日	名古屋女子大学 1人
11月23日～12月1日	常葉大学 2人
12月3日～12月11日	常葉大学 3人

・特別支援学校実習

	該当なし

・小学生福祉体験

	該当なし
--	------

・研修


(9) 事故報告

対象者	月日	事故の内容	再発防止策
利用者 Y・W	4月4日	・食堂清掃の際、落下している薬があり確認すると、本児の薬であった。	・看護師から主治医に対して、薬錠剤から散剤に処方変更してもらい、口からの落下防止を試している。
利用者 A・S	5月13日	・食事提供の際、髪の毛が食事の中に入った状態で提供された。	・調理員の始業前の服装の確認
措置児童 R・N	5月15日	・外活動中の園庭から、沼特に向かって走って行ってしまった。	・本児の自閉症スペクトラムと情緒障害による障害特性について、理解を深め職員の言動などにも気を配るよう会議で周知している。
措置児童 R・N	7月12日	・居室の窓から園庭に出て、今小ままで出て行ってしまっている。	・上記と同様の児童の為、突発的な行動が考えられる為、施設携帯の携帯などを意識していく。
措置児童 T・S	8月1日	・サッカー一部の部活の為朝食時間が早まったことで服薬の内服を忘れしまった。	・分担表に服薬のある児童の変更については落とすこと。 ・薬を分担表に付ける。 ・児童にも事前に話をしておくことも必要である。

措置児童 M・T	8月9日	・外出先から学園に戻る際不貞腐れ公用車に乗れず、徒歩で学園に戻る際所在が不明となった。	・突発的な行動が考えられる為、職員の声掛けの工夫や想定されるリスクの洗い出しをする。
措置児童 M・T	8月14日	・園庭で水鉄砲で遊んでいる時に、職員の顔を殴打してしまい、当該職員から顔面を殴られてしまった。	・突発的な行動が考えられる為、職員の声掛けの工夫や想定されるリスクの洗い出しをする。
措置児童 R・N	8月22日	・窓から外出をして、沼特に向かって走って行ってしまった。	・本児の自閉症スペクトラムと情緒障害による障害特性について、理解を深め職員の言動などにも気を配るよう会議で周知している。
措置児童 R・N	8月26日	・窓から外出をして、沼特に向かって走って行ってしまった。	・本児の自閉症スペクトラムと情緒障害による障害特性について、理解を深め職員の言動などにも気を配るよう会議で周知している。
措置児童 M・S	9月2日	・支援員を背後からガラスの鈍器で殴りけがを負わせた。	・児童の特性の理解と共に、関係機関との連携強化と共に、児童の対応についてのケース検討の充実を図っていきたい。
措置児童 R・N	10月5日	・沼特早下校の際、公用車の隣に駐車した車両に扉をぶつけてしまった。	・突発的な行動が出てしまう傾向にあるため、公用車の駐車位置は車両の乗車位置を再度確認する。
措置児童 複数	11月7日	・おやつのお味期限が切れており、発見がおくれ児童が食べてしまった。	・賞味期限の確認の再確認を行うとともに、提供までのおやつの保管状態などを把握し改善をする。
措置児童 複数	11月7日	・ドライブの際に進路変更をしたい際、確認を怠り公用車をぶつけてしまった。	・転校の変化や、外出先などを打ち合わせで確認し、危険な場所や危険と思われる天候での外出は控える。
措置児童 Y・W	11月9日	・服薬忘れ、配薬箱に当該児童の薬が残っていた。	・服薬ボックスに注意喚起のシールを貼る。当該児童の配薬注意書類にも同様の分を入れ込みをした。
措置児童 F・Y	11月14日	・他児とのトラブルが起因となり無断外出をしてしまった。	・情緒不安による無断外出のある児童なので、引き続き情緒面等考慮した支援の継続を行う。
契約児童 A・S	12月12日	・他児とのトラブルが起因と思われる引っ掻き傷がある。	・他害行為のある児童と当該児童が同じ空間で過ごす事が多いが、職員が持ち場を離れる時は、他職員に声を掛けるや当該児童と一緒に行動するなどの配慮を引き続き行っていく。
措置児童 F・Y T・W	12月21日	・男性職員トイレの個室に入り込む時間があった為聞き取りを行うが正確な状況が把握できなかった。	・お互いの距離が近い児童なので、性逸脱等に繋がらない環境作りや教育を今後も続けていきたい。
車両自損事故	1月2日	・姉妹交流(GHに入所している児童の妹が現在学園に措置入所しており交流)の為姉を迎えに行った際の事故。	・事前の確認等をしっかりと行っていく。
職員の怪我	2月25日	・下校の際、公用車から児童を降車させるため抱きかかえたところバランスを崩し、右ひざを裂傷してしまった。	・情緒障害のある児童なので、降車にも時間がかかったりするが、一人で対応しようとせず、他の職員の助けを早めに呼ぶようにする。

措置児童 R・N	3月22日	・換気中の開錠してあった窓から、沼特に向かって走って行ってしまった。	・本児の自閉症スペクトラムと情緒障害による障害特性について、理解を深め職員の言動などにも気を配るよう会議で周知している。
----------	-------	------------------------------------	--

#### (10) 施設の現状と課題（令和2年4月～令和3年3月）

沼津市からの福祉型障害児入所施設の指定管理を受託して、3期5年期間の3年目にあたる。令和3年3月末現在、東部児童相談所からの措置児41名、その他の契約児2名、計43名（男児25名女児18名）の児童が入所している。入所児童のうち療育手帳Aを所持している児童は5名で、児童のほとんどが中・軽度の知的障害児である。児童は今沢小学校・中学校の育成学級及び県立沼津特別支援学校の小学部・中学部・高等部に通学している。

学園では児童が安心して、安全な規則正しい生活を送ることができることを目指し、将来に役立つ社会的な生活習慣の獲得を目標としている。ここ数年の入所児童の特徴として、知的障害だけでなく愛着障害や発達障害等を併せ持つ児童や出身世帯等での様々な虐待を経験している者が多く、そのため児童の特性を理解し児童に寄り添う支援を心掛けている。また、卒園後の進路は児童自身の思いを尊重しながら、保護者や関係機関等と協議し自立や社会参加ができるように努めている。

令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大のために、学校の休校や夏休み期間の変更などがあり児童が落ち着いた学校生活を送ることができなかった。また、感染予防対策のため、遠足・修学旅行・自然教室などの行事、プール・運動会などの学校行事が変更や中止となったほか、学園においても外出・保護者との面会等の制限などを行い、非常に制限の大きな一年となった。幸いにもこれまで児童、職員等には感染がなく、児童も落ち着いた生活を送ることができている。今後も十分な感染症予防対策を取りながら、適切な生活が送れるように努めた。



## 6.いづみ事業報告

### (1)利用状況

#### ①自立支援給付関係

生活介護	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開所日数	21	18	22	21	18	20	22	19	21	19	18	23
平均利用者数	32.6	34.8	35.6	32.0	34.9	35.7	33.6	34.9	33.3	34.4	33.4	33.5

\*4月時点 定員: 40人 契約者数: 36人

#### ②地域生活支援事業

沼津市地域活動支援事業	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総利用者数	2	0	3	1	5	5	7	5	7	5	4	6

#### ③その他の事業

該当なし

### (2)主な行事、研修等

#### ①施設行事

4月2日～6日	お花見(各活動グループごと)
8月18日	お祭り模擬体験(活動室内にて)
8月20日	かき氷(活動室にて)
	外出レク:伊豆市:シイタケ狩り(貸し切り) 花グループ
1月8日	新年のつどい
2月4日	節分(豆まき)
3月	活動グループごとのお楽しみ外出

#### ②外部大会、会合等

12月3日～9日	障害者週間:活動先の公園内清掃活動。公用車にポスター掲示

#### ③研修会、講演会(法人内外)

12月4日	静岡県知的障害者福祉協会 職員講座(ウェブ開催) 北原卓弥支援員参
12月7日	静岡県 集団指導(ウェブ開催)
12月11日	第53回東海地区福祉施設長協議会(ウェブ開催)
12月16日	沼津市福祉施設職員研修交流会(ウェブ開催) 船津明子支援員参加
2月25日	静岡医科研知的障害者福祉協会 施設長等研修(ウェブ開催)

#### ④その他

4月8日	ヤクルト(東静岡ヤクルト販売店)
2月2日	恵方巻の寄付(ミニストップ:早川様)
12月25日	ケーキ・チキンの寄付(ミニストップ:早川様)
12月26日	車両(アイシス)(岩崎様)

### (3)安全対策

4月・7月・11月・2月	厨房エレベーター点検(サイタ工業(株)・4回/年)
4月20日	アルソック点検
9月4日	防災訓練(大平分署が来所し、水消火器体験など)
11月28日	停電工事(キュービクル:変圧器交換)
*定期的な内容	避難訓練:毎月、施設内安全点検:毎月

(4) 保健衛生

4月6日	貯水槽設備点検(東洋技研)
4月・8月・	汚水処理施設点検(東洋技研)
6月・8月	害虫駆除(帝装化成)
11月27日	インフルエンザ予防接種(施設にて:三島協立病院医師来所)
定期的な内容	細菌検査:毎月

(5) 監査等

12月8日	静岡県 事業者集団指導(ウェブ)
	なし

(6) 工事・備品関係(10万円以上固定資産物品の購入・工事・修繕)

9月21日	ノートパソコン3台買い替え	343,200
9月7日	厨房用冷凍庫(検体保管用)	213,180
11月22日	2階 階段に閉会式ゲート設置	157,300
	合 計	556,380 円

(7) 作業収入の実績

アルミ缶・自主製品・紙納品など (4月～ 6月末)	3,751 円
アルミ缶・自主製品・紙納品など (7月～ 9月末)	18,730 円
アルミ缶・自主製品・紙納品など (10月～12月末)	21,653 円
アルミ缶・自主製品・紙納品など (1月～ 3月末)	円
合 計	44,134 円

(8) ボランティア・実習生・見学者等

・ボランティア

	なし

・見学

	なし

・実習生 施設実習

9月下旬	保育実習(静岡常葉大学3年生:女性1人)
10月上旬	保育実習(静岡常葉大学3年生:女性1人)

・特別支援学校実習

	なし

・小学生福祉体験

該当なし	
------	--

・研修

7月4日	法人全体研修(会場を5施設に分けてのウェブ研修)
------	--------------------------

2月27日	法人全体研修(会場を5施設に分けてのウェブ研修)

(9) 事故報告

対象者	月日	事故の内容	再発防止策
利用者	4月15日	普段から、食事後に自分の食器で頭を叩くこだわり行為がみられていたが、今回は強く打ったため、5cmほどの裂傷と出血。職員が付添い通院した。	ご家庭で行なっている、食事中は頭部にタオルを巻き、食器は、より柔らかいシリコン製の物に交換し、ご本人の様子をみる事とした。
利用者同士	4月23日	昼休み、女性利用者Tさんと男性利用者Sさんが廊下ですれ違った際、Aさんの左手指をSさんが噛んでしまう。看護師が処置する。	他害行為があるSさんには、日ごろ以上に注視し見守る必要があるが、2人とも廊下を移動する多動性があるので、限界はある。
利用者	4月27日	散歩先の公園にて、男性利用者Sさん(多動)が、トイレ近くの通路の窪みに足と取られ転倒。左ひだ下に10cmほどの擦過傷となる。	Tさんは すり足ぎみで歩行するため、職員は極力、平坦な道を散歩に選んでいるが、より一層注意する。
利用者同士	5月26日	散歩に向かう公用車内、運転手の後ろ席の利用者Sさんが、助手席に手を伸ばした際、助手席の利用者Nさんに伸ばした指を噛まれてしまう。	Nさんは、時々他者に対し 抓る・噛む行為が見慣れている。Nさんも他害行為があることを、また危険認知が難しい2人であることを、より職員は意識する。
利用者	5月27日	日ごろから発作が頻繁なHさんの排泄介助中(トイレ)、他利用者のくしゃみで 笑い発作から突然脱力し転倒、頭部を壁にぶつける。(ヘッドギア着用)	今後は、バリアフリートイレを使用する。できれば、排便時は男性職員が2人体制で対応したい。
利用者同士	6月2日	昼休みの活動部屋、のんびりTV鑑賞中、男性利用者Mさんに、男性利用者Sさんが、突然Mさんの額を叩く行動あり。額は少し赤くなる。	Sさんは、朝から不機嫌気味であったため、より職員が注意して見守る必要があった。今後は、声を掛け合い、Sさんには目を離さず、適度な距離で見守ることとする。
運転職員	7月3日	朝の送迎中、道路工事現場で、係員の「停止」合図に従わず、直進したため、対向車が道をゆずる状況となった。	運転手から、状況説明を聴取。利用者・職員を乗せている事、公用車を運転していることの重大さを再度伝え、口頭注意とした。
利用者同士	7月7日	昼休みの活動部屋、のんびりTV鑑賞中、男性利用者Mさんに、男性利用者Sさんが、突然Mさんの額を叩く行動あり。額は少し赤くなる。	Sさんは、朝から機嫌がよかったため、職員が油断していた今後は、声を掛け合い、Sさんには目を離さず、適度な距離で見守ることとする。
利用者同士	8月23日	送迎中の公用車内にて、後方の男性利用者Wさんが、素早い動作でシートベルトを外して立ち上がり、下車しかけた女性利用者Kさんを抓る他害行為あり。 職員の脇下から手が出たため制止できなかった。	男性利用者Wさんは、日常から他害行為があるため、職員も注意はしていたが、添乗職員が1人ついて満席であり、対応は厳しいが、今後は、送迎時の本人の状態を見極めて 個別送迎など対応したい。



利用者と一般人	9月14日	健康診断での三島協立病院の待合室にて、男性利用者Mさんが、ひとつ空けたベンチに座っていた一般女性の髪を掴んでしまった。	Mさん、直前に採血がうまくできずに少し不安定になっていた。日頃から他者の髪をつかむことはあったため、職員は注意していたが、事故が起ってしまった。病院側および相手方には訪問し謝罪した。
職員	10月15日	送迎車、出発が遅れる。 8:45 利用者家族より「送迎者が来ていないが」との連絡あり、沼清ルート送迎車が出発していないことに気づく。定時より16分遅れての送迎となってしまった。	急な職員の年休が重なり、送迎職員の順番が、変わったことに気づかず、時間が経過していたことが原因。送迎前に打ち合わせを確実にすることを再確認した。
利用者同士	11月6日	朝の日中活動前、活動室にて、利用者Wさんが前に座っていた利用者Oさんの顔を叩く行為あり。ケガはない。Oさんが咳き込んだことがWさんにとって気になった様子あり。	職員がWさんと共に廊下に移動し、叩くことはいけないことと伝える。
利用者	11月10日	散歩先の公園駐車場で、利用者Hさん(てんかん発作)が車両から前かがみに車外に転倒する。	同行した職員が、他の利用者を支援するため、車から2mほど離れた時、本人が脱力発作を起こした。日ごろから発作の多い方なので、十分注意していたが、シートベルトを自身で外してしまったことも一因であった。
利用者	1月15日	午後の散歩活動先、蛭が小島にて、公用車で、女性利用者Bさんが、突然男性利用者Aさんの腕に噛みつく。配っていたお茶コップの順番を待はずライラしたためと考えられる。さいわい傷にはならなかった。	男性利用者A賛意はすぐ職員が謝罪。夕方、自宅に連絡し帰宅後の様子をうかがう。今後は、Bさんには1番にお茶を渡すこととした。
運転職員	1月16日	帰りの送迎中、工事のため迂回した狭い道で、スライドドアの下部をコンクリートにこすってしまう。	さいわい利用者・職員にはケガもなく、こすった個所の傷も軽度なので、修理することなく済んだ。
運転職員、利用者	2月15日	帰りの送迎途中、道路わきから出てきた一般車両が公用車の側面に衝突し、スライドドア付近が破損する。職員や利用者さんにはケガもなく。交代の送迎車で続行する。	もらい事故的要素が大きい。送迎時はより一層前方に状況に注意して運転することを職員間で再確認した。

#### (10) 施設の現状と課題

本年度も、ご利用者個々の特性に応じた支援の向上と家族支援の継続する。また、コロナウイルス感染予防を職員ならびにご利用者・園家族に周知徹底していき、「新しい生活」についても実施したい。

支援に関して、行動障害の強い方、危険回避が難しい方、軽度、重度の方が混在する中での、安心安全な環境の提供に苦慮している。今後も、利用者の在宅生活を支援するため、構造化の試行的導入を行なっていく。

## 7.ビーンズ事業報告

### (1)利用状況

#### ①自立支援給付関係

生活介護	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開所日数	21	18	22	21	18	20	22	19	21	19	18	23
平均利用者数	19.8	18.9	20	19.6	18.2	17.5	16.7	17.2	16.9	17.4	17.6	16.7

\* 定員: 20 人 契約者数: 23人

#### ②地域生活支援事業

沼津市地域活動支援事業	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総利用者数	12	8	16	18	17	18	7	12	6	6	6	10

### (2)主な行事、研修等

#### ①施設行事

6月22日	ピクニック① (富士市原田公園)
6月30日	ピクニック② (富士市原田公園)
7月3日	ピクニック③ (富士市原田公園)
7月9日	ピクニック④ (富士市原田公園)
7月21日	スイカ割り
8月7日	スイカ割り
8月20日	夏のお楽しみ会
9月7日	グルーブプレク①(富士サファリパーク)
9月9日	グルーブプレク②(富士サファリパーク)
9月11日	グルーブプレク③(富士サファリパーク)
9月14日	グルーブプレク④(富士サファリパーク)
9月18日	グルーブプレク⑤(富士サファリパーク)
9月30日	グルーブプレク⑥(富士サファリパーク)
10月30日	ハロウィン
11月13日～19日	ビーンズ喫茶店(楽しいティータイムを過ごす)
12月5日	障害者週間イベント(親子で体験)
12月18日	愛護ギャラリー展WEBで見学
12月28日	イヤードパーティ
1月12日	新年会
2月18日～22日	ビーンズ喫茶店(楽しいティータイムを過ごす)

#### ②外部大会、会合等

9月11日	沼津市福祉施設連絡協議会 第1回役員会議(サンウェルぬまづ)
10月12日	沼津市福祉施設連絡協議会 第2回役員会議(サンウェルぬまづ)
10月20日	沼津市福祉施設連絡協議会 第3回役員会議(サンウェルぬまづ)
10月30日	沼津市福祉施設連絡協議会 施設長会議 (ZOOMで)
12月17日	静岡県健康福祉部 障害児・者福祉サービス事業者説明会 (WEB)
2月9日	第1回「ソウェルクラブ静岡」業務推進委員会(シズウェル)

#### ③研修会、講演会(法人内外)

12月11日	東海地区知的障害関係施設長等研究協議会 (WEB研修)
12月16日	沼津市福祉施設連絡協議会 職員研修交流会 (ZOOM)
1月19日	福祉サービス苦情解決研修会 (ZOOM)
2月5日	講座「障がいのとらえ方講座」 (ZOOM)
2月25日	静岡県施設長等研修会(WEB)
3月11日	東海地区知的障害関係職員研究協議会 (WEB研修)

#### ④その他

・なし

## (3) 安全対策

9月4日	厨房エレベーター点検
5月26日	屋外ガスタンク交換(鈴与ガス)
6月23日	厨房機器点検
9月9日	消防設備の点検
10月9日	厨房機器点検
3月5日	消防設備の点検
3月5日	エアコン空調設備取替工事 入札実施

## (4) 保健衛生

4月30日	サンワフーズ業者による衛生講習
7月3日	建物内の害虫駆除
8月20日	サンワフーズ業者による衛生講習
9月4日	健康診断
11月9日	インフルエンザ予防接種
12月15日	サンワフーズ業者による衛生講習
2月12日	新型コロナウイルス感染症の拡大検査 3名 (静岡県健康福祉部)
3月26日	建物内の害虫駆除
定期的な内容	月初めに体重及び血圧測定、毎日検温実施(利用者)

## (5) 監査等

5月13日	監事監査実施
-------	--------

## (6) 工事・備品関係(10万円以上固定資産物品の購入・工事・修繕)

4月22日	食器乾燥(滅菌庫)機入れ替え工事	436,500円
5月11日	公用車 キャラバン 車検	170,550円
4月25日	建物内玄関天井照明器具LED工事	165,000円
5月11日	公用車日産セレナ1号車 車検	170,550円
5月18日	公用車日産セレナ2号車 車検	124,550円
5月25日	浴室リフトオーバーホール	273,460円
6月5日	公用車日産セレナ3号車 車検	135,030円
6月7日	エアコン清掃	392,700円
10月10日	1階コロナ感染症予防の為に抗菌壁の張替え等工事	531,299円
10月14日	非常誘導灯のランプ、基盤の交換等	159,500円
12月9日	浄化槽ブロワ交換	107,800円
1月17日	静養室の改修工事	467,500円
2月20日	浄化槽清掃	118,800円
	計	3,253,240円

## その他

3月5日	エアコン空調設備工事取替入札(FUJIN PROTEC落札)	7,000,000円
------	--------------------------------	------------

## (7) 作業収入の実績

アルミ缶つぶし・委託作業・自主製品・パイン・バザー等	
計	69,457 円

## (8) ボランティア・実習生・見学者等

・ボランティア  
なし

・見学

8月20日	常葉大学	1人
2月1日	在宅障害者本人と家族	2人
2月17日	在宅障害者本人と家族	3人



・実習生 施設実習

9月14日～25日	常葉大学3年生	保育実習	1人
11月19日～20日	他事業所利用者	体験実習	1人
2月24日～26日	在宅障害者	体験実習	1人

・特別支援学校実習

12月8日～10日	沼津特別支援学校生	1人
1月25日～2月2日	沼津特別支援学校生	1人

・研修

なし

(9) 事故報告

対象者	月日	事故の内容	再発防止策
職員	11月25日	利用者様のそばを離れた際に、床に座り込む姿勢となっていた。その後トイレに行くとき失禁しており、発作があったと予想し、家族に謝罪した。当日、家庭で念の為に通院したがレントゲン撮らずに終わる。翌日脚の腫れがみられたので職員が同行通院すると骨折が判明した。	発作のある利用者様のそばを離れる際には、他の職員へ引き継ぐことを徹底する。 (全治3ヶ月との診断の為、静岡県と沼津市役所に電話連絡し状況を説明後、事故報告書を送付する)

(10) 施設の現状と課題

<ul style="list-style-type: none"> <li>・開設から18年が経過し修繕を要するところが毎年ある。</li> <li>・大雨や台風の影響で1階の「社会適応訓練室」、「男女更衣室」「食堂」と廊下などの壁紙にカビが出てきたので、新型コロナウイルス感染症予防のため、防カビと抗ウィルスの壁紙張替えと塗装をする工事をした。</li> <li>・経年劣化によるエアコンの室外機の故障あり、入札を実施し5月末までに工事を完了予定。</li> <li>・コロナ感染症予防の為、行事がなかなか出来ない現状ではあるが、工夫して1回は外出の行事を実施した。その他は室内での行事を工夫して実施している。</li> <li>・利用者様が過ごされる家庭のご両親などの高齢化と病気で在宅で今まで通り通所することが困難となり入所施設を検討している家族が少しずつ増えてきていると思われます。</li> <li>・10月に新規施設「ナラティヴ」開所に伴い、2名の方が移行しました。それに伴い、12月に新規利用者さん1名を受け入れをした。現在、積極的に新規利用希望者の施設見学や特別支援学校生徒の実習を受け入れ、次年度には2人の新規利用者を受け入れ予定。</li> <li>・重度加算対象者が定員の半分を占めており、職員はてんかんや重度肢体不自由者に対する介護等の研修を積むことが必要であり、正規職員は全員介護福祉士取得を目指し合格した。</li> <li>・視覚・聴覚障害者も7名利用されており、1対1での対応を要することから職員配置も最低人数以上に配置しより安全で活動の充実を図る努力をしている。</li> </ul>
--

## 8.エンゼルらんど事業報告

### (1)利用状況

①自立支援給付関係 単位:開所日数 日/月、平均利用者数 人/日

就労継続B	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数	21	20	21	20	18	21	22	19	21	20	18	22	243
平均利用者数	8.1	7.5	9.2	8.5	8.8	8.4	9.0	9.1	9.1	8.0	8.8	8.5	8.6

定員: 10人 契約者数: 10人

生活介護	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数	21	20	21	20	18	21	22	19	21	20	18	22	243
平均利用者数	9.3	8.7	10.8	10.8	9.8	10.0	9.7	10.1	9.9	10.7	10.3	11.0	10.1

定員: 10人 契約者数: 12人

### ②地域生活支援事業

該当なし

### ③その他の事業

該当なし

### (2)主な行事、研修等

#### ①施設行事

6月2日	新型コロナウイルス拡大防止のため内外部ともイベント中止が多い のぞみまつり出店・販売 夏のレクリエーション(夏の食べ物:そうめん・スイカ等) 社会体験小グループ外出
8月12日	
11月	

#### ②外部大会、会合等

4月26日	静岡県知的障害者福祉協会 第1回会員総会(静岡) 沼津市社会福祉連絡協議会(沼津)(Web) 第56回東海地区知的障害関係施設職員研究協議会(Web) 沼津市社会福祉連絡協議会(沼津)(Web) 静岡県障害児・者福祉サービス事業者説明会(Web)
10月30日	
12月11日	
12月16日	
12月	

#### ③研修会、講演会(法人内外)

7月4日	法人全体研修 静岡県東部発達障害者支援センターアスタ 障がい者支援研修(Web) 静岡県東部発達障害者支援センターアスタ 障がい者支援研修(Web)
7月31日	
8月7日	

#### ④その他

5月	エンゼルらんど総合保護者会は書面で実施
----	---------------------

### (3)安全対策

4月	広伸防災消防設備点検 浄化槽点検 総合防災訓練
4月	
9月7日	

### (4)保健衛生

10月20日 定期的な検査等	健康診断実施 細菌検査(検便)を定期実施
-------------------	-------------------------

### (5)監査等

該当なし	
------	--

## (6) 工事・備品関係(10万円以上固定資産物品の購入・工事・修繕) 税抜

7月	ノート型PC4台買い替え	428,000 円
	合 計	428,000 円

## (7) 作業収入の実績 税抜

受託作業	1,683,390 円
パン製造販売	1,268,949 円
喫茶店・引出物・バザー等	83,983 円
自主製品販売	274,872 円
クッキー製造販売	3,150 円
合 計	3,314,344 円

## (8) ボランティア・実習生・見学者等

## ・ボランティア

該当なし	
------	--

## ・実習生 施設実習

該当なし	
------	--

## ・特別支援学校実習

該当なし	
------	--

## ・研修

該当なし	
------	--

## ・見学

該当なし	
------	--

## (9) 事故報告(利用者に関わる事故)

対象者	月日	事故の内容	再発防止策
利用者	3月3日	公用車の後部扉を閉じる際に、利用者さんの頭をぶつける。	扉を閉じる際には、周囲に充分気をつけて人がいないのを確認する。

## (10) 現状と課題

<ul style="list-style-type: none"> <li>・開所より11年が経過し、修繕を要する箇所が徐々に増えてきている。</li> <li>・新型コロナウイルスの影響で利用者のお休みがあり、対前年比で減収となった。</li> <li>・新型コロナウイルスの影響で、受託作業(特にお土産製品)が減少。またイベントの中止、市役所売店の営業一時中止等パン販売かなり減少しており、引き続き就労継続支援B型事業の目標工賃30,000円/月に向けて自主製品(パン、お菓子等)を開発する。(継続中)</li> <li>・一般就労に向けた支援も今後広げて行く。(継続中)</li> <li>・精神障害者の利用者増えてきており、その支援のレベルアップを図る。(継続中)</li> </ul>
--



## 9.ミルキーウェイ事業報告

### (1)利用状況

#### ①自立支援給付関係

生活介護	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開所日数	21	18	22	21	18	20	22	19	20	19	18	23
平均利用者数	18.95	20.56	20.18	19.24	19.33	18.65	18.81	19.58	18.45	19.52	19.83	19.65

\*4月時点 定員：20人 契約者数：42人

児童発達支援	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開所日数	21	18	22	21	18	20	22	19	20	19	18	23
平均利用者数	0.67	0.39	0.41	0.29	0.39	0.35	0.36	0.26	0.25	0.52	0.17	0.57

\*4月時点 定員：5人(児発・放デイ併せて) 契約者数：1人

放課後等デイサービス	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開所日数	21	18	22	21	18	20	22	19	20	19	18	23
平均利用者数	1.19	1.00	1.27	1.43	2.61	1.30	1.68	2.05	2.00	1.53	1.67	1.17

\*4月時点 定員：5人(児発・放デイ併せて) 契約者数：20人

#### ②地域生活支援事業

##### ・見守り支援・日中一時支援

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総利用者数	38	49	50	51	48	44	50	42	51	47	45	53

#### ③その他の事業

##### ・ライフサポート事業(宿泊)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総利用者数	3	4	4	4	0	4	4	5	0	0	0	0

### (2)主な行事、研修等

#### ①施設行事

6月10日	web交流会(生活介護事業所「えがお」)
8月24日～28日	ミニ夕涼み会
10月1日	web交流会(生活介護事業所「ぴのほ～ぷ」)
12月25日	クリスマス会
1月26日	web交流会(生活介護事業所「あにまあと」)

#### ②外部大会、会合等

6月5日	全国日中活動支援部会(web)
9月23日	沼津市自立支援協議会日中活動専門部会(沼津市役所)
10月14日	全国日中活動支援部会(web)
10月28日	愛知県日中活動支援部会(web)
12月4日	静岡県日中活動支援部会(web)
2月8日	全国日中代表者会議(web)
2月12日	重心ネットワーク研修会(web)
2月16日	静岡県知的障害者福祉協会理事会
2月25日	静岡県知的障害者福祉協会施設長会
3月4日	日本知的障害者福祉協会部会代表者会議(web)

③研修会、講演会(法人内外)

8月13日～14日	相談支援従事者初任者研修(静岡)
9月9日～10日	相談支援従事者初任者研修(静岡)
11月5日	安全運転管理者講習(沼津)
11月6日	県知協「医療・看護講座」(web)
11月26日	相談支援従事者初任者研修(静岡)
3月11日	東海地区知的障害関係施設職員研究協議会(web)

④その他

--	--

(3)安全対策

隔月第一週目に実施	施設内設備点検
毎月第一週目に実施	車椅子・座位保持椅子点検

(4)保健衛生

4月24日	嘱託医web往診(つばさ静岡)
5月18日～6月3日	利用者様健康診断(2人/日・聖隷沼津健診センターへ)
7月28日	嘱託医往診(つばさ静岡)
10月27日	嘱託医往診・職員インフルエンザ予防接種(つばさ静岡)
11月9日～11月24日	職員健康診断(聖隷沼津健診センター)
1月25日	嘱託医往診(つばさ静岡)
毎月実施	利用者様体重測定
	職員細菌検査

(5)監査等 該当なし

--	--

(6)工事・備品関係(10万円以上固定資産物品の購入・工事・修繕)

パルスオキシメーター(9月)	242,000円(121,000円×2台)
業務用冷凍冷蔵庫(10月)	806,740円
空間除菌脱臭機(10月)	140,000円
合 計	1,188,740円

(7)作業収入の実績 該当なし

		円
合 計		円

(8)ボランティア・実習生・見学者等

・ボランティア 不定期で来所	杉山喜美子様・・・緑地帯の草取り・清掃
-------------------	---------------------

・見学	
5月30日	日本建築専門学校生・建物構造について見学
10月1日	施設見学(東部特別支援学校高等部・2名)
10月28日	施設見学(東部特別支援学校中学部・2名)

・実習生 施設実習

8月17日～28日	保育実習(小田原短期大学2年生・1名)
3月18日～3月31日	保育実習(総合学園ヒューマンアカデミー・1名)

・特別支援学校実習

9月16日～18日	産業現場における実習(東部特別支援学校高等部3年生・1名)
-----------	-------------------------------

・小学生福祉体験 該当なし

--	--

・研修 該当なし

--	--

(9) 事故報告

対象者	月日	事故の内容	再発防止策
利用者	5月7日	ご家庭との連携不足により、一日の規定量を超える頓服薬の服用をした。	頓服薬の使用状況を職員側が能動的に確認をする。 頓服薬使用時に服用状況が確認できない場合には、保護者へ連絡して服用状況を確認する。
利用者	6月1日	ベッドから便座へ移乗する際、利用者様の右手首がトイレトイレットペーパーフォルダに当たり、長さ5cmの線状の傷を負わせた。	移動を伴う身体介助をする際は、利用者様の「身体の動き」「筋緊張の度合い」「周囲の状況確認」を行なう。 ヒューマンエラーによる事故防止を目的とした、ハード面の見直しを行なう。
利用者	12月8日	右目下1cm角程の若干青みを帯びた腫れを発見。4時間程度経過した後、青みは右目周囲全体に広がった。直接的な原因は不明だが、ご本人の動きのみでは負う可能性の少ない怪我なので、介助中や移動中の外的要因が考えられる。	介助中の動作が一番の理由として考えられるので、怪我を負わせない為の基本的な動作を书面化し、支援会議で周知をした。
利用者	1月26日	突然泣き出し足を痛がる様子が見られた為に通院したが、診断結果は左大腿部の骨折だった。骨形成不全症に加え骨折の既往が複数回ある中で、「抱き上げ」「座位からの前屈」など原因は複数考えられる。	利用者様の既往歴からリスクを推測し、そのリスクを回避する為の準備をする。当該利用者様の当面の対応は、抱き上げとバギー乗車は最低限に留める事とした。



#### (10) 施設の現状と課題

- ・新型コロナウイルス対策として、利用者様・ご家庭・職員の健康管理の徹底や施設内の衛生管理を行ってきた結果、コロナウイルスへの罹患はもちろん、体調不良になる方も減少しています。感染症対策の効果を目の当たりにしており、今後も同様の体制を敷いていく事が大切だと感じています。
- ・ミルキーウェイを利用されている方は全員が身体介助を必要としていますが、施設内やご自宅で身体介助時に利用者様が怪我を負う事故が数件発生しています。身体介助は利用者様に怪我をさせてしまう可能性がある事を支援者全員が認識し、注意事項や周知事項の確認を随時行なっています。
- ・利用者様の意思決定を支援させていただく中で、言語的コミュニケーション・非言語的コミュニケーション共に表出が少ない方の意思を知る方法として、表情や身体の動きを観察する等しています。利用者様の小さな変化や反応を見逃さず、複数の職員での情報共有も頻繁に行なわれていますが、本当の意味でご本人の意思を汲み取れているかの確認が出来ていません。

## 10.こころみファーム事業報告

### (1)利用状況

①自立支援給付関係 単位:開所日数 日/月、平均利用者数 人/日

就労継続B	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開所日数	22	18	22	21	20	20	22	19	20	19	18	23
平均利用者数	18.3	19.8	20.2	20.1	17.2	19.6	19.8	20.2	18.8	18.3	18.9	18.9

\*6月末時点 定員: 20人 契約者25人

### ②地域生活支援事業

該当なし

### ③その他の事業

該当なし

### (2)主な行事、研修等

#### ①施設行事等

8月12日	夏のグループレク
12月26日	忘年会
3月30日	春のグループレク

#### ②外部大会、会合等

なし	
----	--

#### ③研修会、講演会(法人内外)

7月3日	法人研修
11月20・27日	成年後見制度基礎・応用編(zoom)
2月27日	法人研修

#### ④その他

9月10日	グループホーム見学
-------	-----------

### (3)安全対策

6月1日	消防設備点検
6月5日	浄化槽点検
9月4日	浄化槽点検
9月30日	総合防災訓練
12月2日	消防設備点検
12月4日	浄化槽点検・法定点検
3月18日	
定期的な内容	避難訓練:毎月、施設内安全点検:毎月

### (4)保健衛生

健康診断・インフルエンザ接種	11月10, 12, 13, 17日
----------------	--------------------

### (5)監査等

5月12日	監事監査
11月12日	〃
11月12日	赤い羽根共同募金実地監査(書面監査)

## (6) 工事・備品関係(10万円以上固定資産物品の購入・工事・修繕)

ビニールハウス移設工事	780,000 円
灌水システム(水耕)	1,110,000 円
スーパーハウス(利用者休憩所)	890,000 円
水耕ポンプ交換	275,000 円
	円
合 計	3,055,000 円

## (7) 作業収入の実績

野菜売上(H2. 4H～令和3. 3月) 税抜	6,803,989 円
合 計	6,809,989 円

## (8) ボランティア・実習生・見学者等

## ・ボランティア

なし	
----	--

## ・見学・説明

4月13日	ふれあいホスピタル見学
5月26日	サポートセンターこげら見学
7月21日	サポートセンターなかせ見学
7月31日	//
9月2日	沼津市役所障害福祉課見学
9月16日	サポートセンターあしたか見学
10月2日	沼津中央病院ワーカー見学
10月29日	サポートセンターなかせ見学
12月23日	日吉さん見学
1月20日	サポートセンターリベルテ見学
2月8日	サポートセンターなかせ見学

## ・実習生 施設実習

8月28日・9月8日	社会福祉士実習(土屋)
------------	-------------

## ・特別支援学校実習

なし	
----	--

## (9) 事故報告(利用者に関わる事故)

対象者	月日	事故の内容	再発防止策
職員	5月24日	事業所携帯電話を紛失。土日に取引業者の対応があるため所持をしていたが、買い物の際に紛失。警察に届け出があり、返却される。	基本的には持ち帰らないこととし、業者には個人携帯で対応をすることとした。
職員	6月15日	配達で片浜中側道を通る際、車を避けるため端によりすぎ、左助手席ドア下を擦ってしまう。	対向車が当たりそうだったため、避けようがなかったが、基本的に車を避ける際は一旦停止し、やり過ごすようにする。



利用者	6月22日	農作業中、ハサミを使って葉っぱの処理をしていたところ左手人差し指付け根を切ってしまう。	刃物を使用する際は安全を優先し、軍手を使用すること、作業内容を考えて人選をすることとした。
職員	10月2日	駐車場にて草刈りを行っている際、草刈り機による飛び石でタウンエースのドアガラスを損傷。	車を移動してシートで壁を作っておこなっていたものの、このような結果となり、今後は駐車場の草刈りは行わず、除草剤を使用することとした。
利用者	11月26日	のぞみの里駐車場の草刈りを行っている際、鎌で草を抑えていた左手人差し指をさしてしまう。	軍手をしていたものの、力いっぱいにおこなったことで貫通。革製の軍手を用意し、刃物を使用する際にはこれを使用することとした。

#### (10) 施設の現状と課題

・現在登録利用者数は23名で、内長期入院1名、長期欠席1名。コロナによる影響はなく、活動自体は順調に行うことができている。

・土耕ハウスを全面トマトに切り替え、養液土耕の設備を導入。作業工程が減り、土運びや水やりといった重労働であった作業が省略できたことで手入れ等に時間をさけるようになった。収穫は次年度となるが、収量の増や質の向上が期待できる。

コロナ禍で業者との取引が止まった時期があったが、どれもが優良企業であったことから比較的早く再開し、売り上げも安定していた。また、新規でスーパーでの販売が始まり、少しではあるが販売量の調整が可能となった。

・次年度はこれまでの成果が見えてくる年でもあり、ブルーベリーやめねぎといった新しい作物の準備もできたことから収入増を見込んでいる。利用者についても事業を安定して行える程度に充足してきており、就労支援や施設外実習なども視野に入れて対応をしていきたい。

また、ハサップ(HACCP)、食品衛生法の改正から、加工を中心に法令順守を心掛け、整備をしていきたい。

## 11.伊豆の国市児童発達支援センター事業報告

### (1)利用状況

①自立支援給付関係 単位:開所日数 日/月、平均利用者数 人/日

児童発達	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開所日数	18	18	22	21	20	21	22	19	22	17	18	22
平均利用者数	16.9	18.5	18.9	18	14.2	20	20.5	19.4	19.9	14.5	20.5	20.6

\*4月時点 定員 24 契約者数: 24

保育所等訪問	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開所日数	0	0	1	1	0	2	2	2	2	2	2	2
平均利用者数	0	0	2	2	0	1.5	1.5	1.5	1.5	1	1	1

\*4月時点 定員: 0人 契約者数 3

②地域生活支援事業 単位:総利用者数 人/月

日中一時支援	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実人数	7	8	8	9	5	12	8	5	9	5	7	4

親子療育教室	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実人数	0	0	4	3	0	4	5	7	7	0	5	4

コロナウイルスの関係で外部の出入り5月まで禁止。

③巡回相談支援事業

4月・・0 5月・・17回 6月・・10回

4月・5月・6月どんぐり教室(こっこ、ひよこ)子育て支援センター巡回 計7回市より中止連絡有  
一般巡回・検査前巡回5月・・8回 検査・・4回 結果返し・・5回 計  
一般巡回・検査前巡回6月・・3回 検査・・4回 結果返し・・3回 計10回

7月・・16回 8月・・15回 9月・・20回

7月・8月・9月どんぐり教室(こっこ、ひよこ)子育て支援センター巡回 計7回市より中止連絡  
一般巡回・検査前巡回7月・・8回 検査・・4回 結果返し・・4回 計16回  
一般巡回・検査前巡回8月・・9回 検査・・4回 結果返し・・2回 計15回  
一般巡回・検査前巡回9月・・8回 検査・・5回 結果返し・・7回 計20回

\*月1回 市役所にて巡回相談調整会議に出席

10月・・19回 11月・・16回 12月・・16回

一般巡回・検査前巡回10月・・11回 検査・・4回 結果返し・・4回 計19回  
一般巡回・検査前巡回11月・・8回 検査・・4回 結果返し・・4回 計16回  
一般巡回・検査前巡回12月・・9回 検査・・4回 結果返し・・3回 計16回

1月・・14回 2月・・16回 3月・・17回

一般巡回・検査前巡回 1月・・5回 検査・・4回 結果返し・・5回 計14回  
一般巡回・検査前巡回 2月・・8回 検査・・4回 結果返し・・4回 計16回  
一般巡回・検査前巡回 3月・・9回 検査・・4回 結果返し・・4回 計17回 総計 176回

④その他の事業 該当なし

### (2)主な行事、研修等

①施設行事等

4月3日	入園式
5月16日	親子遠足(中止)
6月第3週～7月2日	保護者参観
9月26日	きららかふれあいフェスティバル
10月19日	運動会(17日雨天の為延期)
11月第2～4週	保護者参観

12月19日	クリスマス会
2月	クラス行事親子お楽しみ会(中止)
3月30日	卒園式

②外部大会、会合等

6月3日	駿東田方圏域自立支援協議会事務局会議(東部庁舎)
6月8日	福祉計画市町説明会(東部庁舎)
6月10日	福祉計画市町説明会(下田庁舎)
6月11日	第1回伊豆の国市就学支援委員会 市協議会 相談部会
6月10日	しょうれんじこども園との支援会議
6月16日	韮山保育園との支援会議
6月17日	長岡保育園との支援会議
6月22日	富士美幼稚園との支援会議
6月25日	田京幼稚園との支援会議
7月10日	長岡南小支援級児童の支援会議
7月21日	東部児童福祉施設長連絡会(沼津、のぎくホーム)
7月28日	しょうれんじこども園との支援会議
7月30日	伊豆の国市地域自立支援協議会全体会
8月12日	地域療育事業説明会(下田)
8月14日	社会福祉法人連絡会
8月25日	圏域地域生活拠点研修会(沼津)
9月7日	賀茂圏域相談部会
9月9日	安全運転講習
9月10日	第2回伊豆の国市就学支援委員会
9月18日	賀茂圏域児童部会
10月8日	市相談部会
10月15日	6期福祉計画ヒアリング
10月19日	6期福祉計画ヒアリング
10月20日	6期福祉計画ヒアリング
11月5日	市内社会福祉法人連絡会
11月6日	市要対協
11月10日	韮山保育園並行通園児童の支援会議
11月17日	長岡保育園並行通園児童の支援会議
11月26日	市相談部会
12月9日	市地域支援部会
12月10日	市相談支援事業所部会 気になるこども支援会議
12月15日	駿東田方圏域自立支援協議会全体会
12月21日	賀茂地区自立支援協議会全体会
12月24日	市相談支援事業所部会
1月21日	第3回伊豆の国市就学支援委員会
1月25日	重心全県ネットワーク会議(WEB)
2月12日	圏域重心部会WEB研修
2月17日	東部発達障害NW実務者連絡会
3月3日	駿東田方圏域事務局会議(東部庁舎)
3月26日	こ・保・幼・小連絡会(各就学小学校)

③研修会、講演会(法人内外)

6月19日	輝望会 新人研修(山下、鈴木)
7月4日	輝望会 法人研修 Web会議方式。きららかで、いずみの職員17名含め28人で研修
9月19日	伊豆医療OT佐々木直美氏「発達障害児への手指の具体的な操作訓練について」
10月29日	「てんかん発作」勉強会 沼津のぞみの里 新井看護師
12月8日	サービス管理責任者研修 シズウェル (加籾)
2月27日	輝望会 法人研修 Web会議方式。いずみの職員含め研修。主任者は 本部にて研修



④その他

該当なし	
------	--

(3)安全対策

6月12日	三友水処理 害虫駆除
6月12日	浄化槽点検
6月17日	清水総業 浄化槽清掃
6月17日	ホシザキ厨房機器点検
6月24日	三友水処理グリストラップ清掃
9月9日	伊豆防災点検
9月17日	三友水処理 浄化槽点検
10月8日	ホシザキ厨房機器点検
11月11日	三友水処理ポンプ点検
11月18日	ホシザキ厨房軟水器カートリッジ交換
12月17日	厨房清掃 三友水処理
12月19日	ドアパッキンの交換
3月5日	伊豆防災消防設備点検
3月9日	三友水処理浄化槽点検

(4)保健衛生

6月17日	厨房機器点検 ホシザキ湘南株式会社
12月17日	厨房清掃

(5)監査等

なし	
----	--

(6)工事・備品関係(10万円以上固定資産物品の購入・工事・修繕)

1月	児童活動室のガラスの破損	107,470
3月15日	園庭、鉄棒の設置(ジャクエツ)	465,300
	合 計	572,770 円

(7)作業収入の実績

該当なし	円
------	---

(8)ボランティア・実習生・見学者等

・ボランティア

コロナの関係で受入なし	
-------------	--

・見学

常葉短大1年生4名	実習を前に、児童発達支援センターの内容を理解する為に見学 伊豆の国市、函南町、伊豆市の通学者。センター長が見学説明を行なう
-----------	--

・実習生 施設実習

6月8日～23日	静岡県立短大実習1名 (5月25日からの予定を延期する)
7月31日	のぞみ幼稚園教諭施設実習
8月6日	富士美幼稚園教諭施設実習
8月21日	葦山小教諭施設実習
9月7日	共和幼稚園教諭施設実習
8月17日～28日	小田原短大実習1名
10月19日～30日	常葉大学短期大学部実習

・特別支援学校実習

該当なし	
------	--

・小学生福祉体験

該当なし	
------	--

・研修

4月～5月	各研修、出張がすべて延期、中止。
8月7日	部内研修「知的障害者援助専門員取得の為の学習から得たもの」
9月9日	佐野職員のぞみ幼稚園への1日研修
10月2日	アスタコンサル 伊豆市おひさま、三島市にこぱル 合同研修「自閉症の特性と対応の基
10月23日	部内研修「成人期の自閉症の特性について」「精神障害について」
10月31日	アスタコンサル 「評価から支援へ」
11月6日	アスタコンサル 伊豆市おひさま、三島市にこぱル 合同研修「特性にもとづく対応のヒ
3月11日	アスタコンサル ケース児童の特性に基づく対応から考えられること

(9) 事故報告(利用者に関わる事故)

対象者	月日	事故の内容	再発防止策
西原 或叶	3月23日	内股の殺傷	レクリエーションで使用していた手作りの木製キャスターボードの破損によって、使用していた児童が傷をおった。安全点検を徹底する。

(10) 施設の現状と課題

本年度のスタートは、新型コロナウイルス対策からスタートしたという感があるが、入園式は保護者と入園児、職員のみで行う事が出来た。その後、各地での感染拡大や自粛の中で法人でも感染症対策に、より注意を払うこととなり、児童や職員、家族に感染者が出ないように注意喚起を続けてきた。市内幼保・こども園と並行通園を行っている児童で通園の自粛を求められていたこどもの中には、きららかで日中の療育を引き受けてきた児童もいる為、きららかの利用児については普段と変わらない日常の生活がある程度提供できたかと思う。5月までは、外部者の立ち入りを制限していたが6月には保護者の参観も行う事ができた。行事については親子遠足を中止せざるを得なかったが、今後の行事については規模を縮小しながらも行っていきたいと考えている。

本年度から始まった午後の療育は、年中児と年長児を受け入れており、幼稚園・保育園終了後に小人数で療育を行っている。巡回相談や保育所等訪問支援等の中で、次に繋げる療育の場として機能できることを願っている。年長児の利用希望が増えてきており一日の利用人数の調整を行っていくこととなった。また、このような事業をきららかで行っていることを知る機会が無かったことの反省を受け、ホームページの開設の準備を行っている。

また、年長児の8名のうち5人については第1回目の就学支援委員会にて就学先が決定した。残りの3人については、今後の様子の観察や保護者との面談の中で就学についての考え方を十分に聞き取り対応した上で第2回目の就学支援委員会へつなげて行きたい。年中児においても就学を視野に入れた中で、地域の幼稚園等への並行通園などを想定し、連携をとっていく必要があると考えている。児童の中では課題が明確となっており、関係者で支援の共有化をはかることが必要と考え、関係者における支援会議の開催を呼びかけたいと思う。(4月～6月)

7月からの3ヶ月間は、コロナ対策と暑さへの対策を行なう日々であった。高温の日には園庭で



の遊びが困難であったため週3日行うプール活動を子ども達が楽しみにしていた。また、本年度から泥遊びが行なえるような環境を整備し今まで行なったことのない泥の感触を感じ汚れを気にすることなく遊びこむことが出来た。これからは園庭に出て遊ぶ時間も増えるが、遊具については今後整備が必要と感じるところである。

この間、巡回相談などで幼・保・こども園等からの相談が増えたこともあって、きららかの療育希望者が増えた。日中の療育に1名・午後療育では4名が追加された。ホームページの開設、インスタグラムを毎日アップしきららかの療育の理解を広めて行きたいと思う。就学に関しては残りの3名も第2回就学支援委員会で方向性が決定した。4月に大きな不安を抱えることなく就学ができるように関係児童の支援会議が、なのはな相談室や関係機関との連携で行われている。また、日中療育の児童については地域幼稚園にもご協力頂き体験利用を行なっている。本年度の行事についてはきららか祭りに替わって「きららかふれあいフェスティバル」を9月に行う事ができた。児童・保護者・職員のみで普段の療育内容が反映された形で密をさけ、クラスごとに短時間で行なわれた。今年の反省を来年度に生かし、今後の行事として育てていきたいと考えている。

本年度は市のフォロー教室が9月まで無かったことや、子育て支援センターへの巡回も出かけられなかった為、来年度の入園時に支援が必要な子ども達の把握が遅れていることが気がかりな点である。今後は関係機関との協力の下、実態の把握に努めたいと考えている。

(7月～9月)

10月は17日(土)に運動会を予定していたが雨天で延期となり、19日(月)クラスごとに短時間で行なった。年長児の保護者からは、例年、年長児種目なども行われていた為もう少し賑やかな開催ができていれば最後なのでありがたかった等のご意見を頂いた。また、コロナ禍のなか、大学生も実習”という形での学びの機会を得られていない学生が居ることから、急遽常葉大学より依頼のあった伊豆の国市在住の学生の実習をお受けした。また、10月より、きららかへの入園の希望のある保護者や、どのように就園を考えていったらよいか子育てに迷いを持つ保護者からの相談が相次いだ。

11月は地域保育園より巡回相談にあがっていた児童について、保護者との面談を経過して日中のきららかの利用に繋がった児童が1名いるが、9月に入園した児童に続いて保育園からの移行で日中利用の並行通園児である。この利用形態は、保護者とのやり取りが困難なことや朝、夕利用している保育園との支援の共有化を図る事が課題となり、相談室の職員と連携を図っていくことが重要となっている。

12月に「気になるこどもの支援会議」を市内の関係機関が集まって協議を行った。きららかへの入園については、保護者が自分のお子さんに遅れがある事を認識しつつも、入園については市から連絡があって決定していくものと考えていた例があった事も協議し、各相談機関の周知が必要と改めて考えさせられた。直、公立の幼保の情報はあるが、私立の園の様子が伝わりにくいことへの対応の難しさを感じた。なお、11月末に新入園児童7名が決定し(卒園児は8名) 1月からは、各ご家庭と面談、受給者証の発行へと進めていく事となる。

12月に行なったクリスマス会は今年は2部制にして行われた。親子でクリスマスの製作を行ったり保護者へのプレゼントを児童から渡したりと、短時間ではあったがとても和やかな時間を過す年が明け、入園を予定している児童の聞き取りが開始されている。また、就学を控えた年長児童については小学校での体験等が行われ、新年度を迎える準備が着々と進んでいる感があった。来年度に一般園への移行を検討している児童については支援会議が開催され、段階を経た移行を行なっていく予定である。また、年長児童についても学校への情報提供の為の書類が作成され、3月末に開かれる予定の、学校との連絡会議には各学校へ職員が手分けして参加の予定である。

本年度は、コロナ禍のなかのようにして家族支援を行っていくべきかに悩んだ1年であった。年度末に行なう保護者への事業所評価のアンケートについても、保護者と顔を合わせる機会がなく情報の交換や親交を深めたかった、との意見があった。個別に必要な家庭については面談等も行なったが、行事も削減される中、来年度への反省として考えていかなければならない。このような状況の中、最後にクラスごとに職員と出かけたリバーサイドでのお楽しみ遠足では、児童の笑顔全開で良い思い出となった。来年度はコロナ感染症が収束していくことを願うばかりである。

(～3月)



## 12. ナラティブ事業報告

### (1) 利用状況

#### ① 自立支援給付関係

生活介護	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開所日数							22	19	20	19	18	23
平均利用者数							6.6	7.8	7.8	5.4	6.9	8

\*3月時点 定員： 20 人 契約者数： 8 人

施設入所支援	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開所日数												
平均利用者数												

\*3月時点 定員： 契約者数：

短期入所	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開所日数												
平均利用者数												

\*3月時点 定員： 人 契約者数： 人

#### ② 地域生活支援事業

沼津市地域活動支援事業	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総利用者数							22	16	20	18	20	27

#### ③ その他の事業

該当なし

### (2) 主な行事、研修等

#### ① 施設行事

10月1日	ナラティブ開所
10月1日	利用者2名 利用開始
10月5日	利用者3名 利用開始
10月12日	利用者3名 利用開始
10月24日	ナラティブ内部研修会(自閉コンサルテーション・ケース検討会)
11月9日	インフルエンザ予防接種(職員・利用者)
11月9日	嘱託医 往診日
11月27日	看護師 来所日
11月28日	ナラティブ内部研修会(自閉コンサルテーション・ケース検討会)
12月4日	特別支援学校 3名 施設見学
12月9日	障害者週間(地域清掃)
12月21日～24日	ナラティブプチクリスマス会(各グループごとで実施)
12月28日	お楽しみ昼食会(外注弁当)
1月11日	ナラティブ利用者1名 成人式
1月18日	嘱託医 往診日
1月23日	ナラティブ施設見学会・説明会
1月30日	ナラティブ内部研修会(自閉コンサルテーション・ケース検討会)
2月9日	新規利用希望者 1名 (評価実施)
2月17日	新規利用希望者 1名 (評価実施)
2月20日	ナラティブ内部研修会(自閉コンサルテーション・ケース検討会)
2月24日	新規利用希望者 1名 (評価実施)
2月27日	法人全体研修会
3月9日	新規利用希望者 1名 (評価実施)
3月17日	看護師 来所日

3月25日	お楽しみ昼食会(外注弁当)
3月27日	ナラティブ内部研修会(自閉コンサルテーション・ケース検討会)
	※毎月の避難訓練実施

②外部大会、会合等

--	--

③研修会、講演会(法人内外)

12月7日	県集団指導(WEB)
12月12日～15日	自閉症カンファレンスNIPPON(WEB研修)
1月25日～26日	アスタWEB研修(アセスメント評価)
1月29日	アスタWEB研修(TEACCH)
2月12日	アスタWEB研修(TEACCH)
2月26日	アスタWEB研修(TEACCH)
2月28日	令和2年度発達障害児者実践報告会
3月12日	アスタWEB研修(TEACCH)
3月20日～21日	PECSワークショップ(WEB研修)
3月26日	アスタWEB研修(TEACCH)

④その他

該当なし	

(3)安全対策

定期的な内容	防災訓練(火災と地震を交互に月1回)実施
	各種 委託業者による定期検査

(4)保健衛生

定期的な内容	嘱託医による健康診断(年2回)
	看護師 訪問(療育相談等 月1回)

(5)監査等

--	--

(6)工事・備品関係(10万円以上固定資産物品の購入・工事・修繕)

		円
合	計	円

(7)作業収入の実績

該当なし		円
		円
合	計	0円

(8)ボランティア・実習生・見学者等  
・実習生

1月25日～27日	沼津特別支援学校高等部2年生 1名	現場実習
1月28日～2月1日	沼津特別支援学校高等部2年生 1名	現場実習
2月3日	新規利用者希望 1名	体験利用

・見学

12月4日	沼津特別支援学校 施設見学 3人

・実習生 施設実習

--	--

・特別支援学校実習

	該当なし
--	------

・小学生福祉体験

	該当なし
--	------

・研修

--	--

(9) 事故報告

対象者	月日	事故の内容	再発防止策
利用者	10月12日	午後の活動中にGさんが、不穏状態となり、事業所正面ガラス戸や壁に体当たりが始まる。体当たりの際に、本人に痣ができ、ガラス戸が破損した	ケース検討会を実施し、利用者の再アセスメント及び再発防止策(本人の支援プログラムの実施・壁等へのクッション材にて、安全性の確保)を講じた。
利用者	2月24日	情緒不安定になったGさんが、職員室の扉を開けようとする。鍵が掛かっているにもかかわらず、職員室扉に2回頭突きし、1回目がドア部分、2回目がガラスに頭突きであり、それでガラスが割れてしまった。ご本人は額に浅く擦過傷ができる。	臨時ケース検討会を実施し、利用者の再アセスメント及び再発防止策(本人の支援プログラムの実施・ガラス部分をポリカーボネートへ変更)を講じた。

(10) ナラティブ 施設の現状と課題

自閉症支援の専門施設として、「構造化」の手法を用いることを、大きな支援の柱とする、生活介護事業所「ナラティブ」は、令和2年度8名の利用者が通園。

令和3年度当初は、2名の新規利用者の受け入れ、また定期的に日中見守り支援を利用する方も増えつつある。新規利用者については、来年度に沼津特別支援学校2名の生徒より、利用希望が確認できているため、現場実習等を通じ、実利用に向けた準備を行っていく。

また利用者の多くは、強度行動障害を抱えており、その利用者への支援は、強度行動障害支援者養成研修等をベースにした、支援や実践が求められ、職員の支援力の向上やスキルアップが必須である。令和3年度も、自閉症Eサービス等の研修にも、積極的に参加できるように、職員への動機付けも行っていく。



### 13. サポートセンターこげら事業報告

1. 相談実績(ケース対応数): 2,466件 (令和2年度3月末現在)

#### 2. 事業内容・実績

##### 1) 沼津市地域生活支援事業 相談支援事業

・相談件数(ケース対応数): 2,324件 ※障害者総合相談支援センターでの対応 134件含む

##### 2) 静岡県障害児(者)地域療育支援センター事業(療育三事業)

・訪問療育: 102件 ・外来療育: 10件 ・施設支援一般指導: 0件

##### 3) 障害支援区分認定調査(沼津市より委託)

実施件数: 30件

##### 4) 沼津市障害者専門相談連絡協議会

(沼津市社会福祉協議会より市内5支援センターへの委託)

こげら職員相談対応日数: 全10回/全体会への参加: 月1回 (全12回)

※令和2年度3月末日までの対応日数: 8回(新型コロナウイルスの影響でサンウェル閉館日があったため10回以下となった。)

##### 5) 計画相談支援・障害児相談支援(令和2年4月～令和3年3月請求分)

サービス利用支援・障害児支援利用援助: 198件

継続サービス利用支援・継続障害児支援利用援助: 245件

※計画作成依頼件数(令和3年3月末まで): 255件

##### 6) その他

- ・沼津市自立支援協議会専門部会(療育教育・相談)・個別支援会議課題検討委員会・拡大運営部会・全体会への参加
- ・圏域自立支援協議 重症心身障害児(者)部会 ・他各種会議への参加

#### 3. 現状と今後の方向性

- ・令和2年度の相談件数は延べ2,000件を超えており、実人員数も200人に昇っている。相談内容は知的障害に関するだけでなく発達障害、重症心身障害児(者)、精神障害や家族全体の課題、生活困窮など多岐にわたる。
- ・計画相談・障害児相談の依頼件数は現在250件を超えている。新規の計画相談対応が難しくなり新規計画相談利用希望者は待機者リストに載せて待機してもらっている状況。新規の受け入れについては来年度のこげら配属職員の人数や力量によって方向性を検討していく。
- ・相談件数が増加していくなか、沼津市委託相談として市役所窓口で対応したケースがそのままこげらでの計画相談・障害児相談に繋がることが多い。また市総合相談支援センターや市役所にあった計画相談の依頼を沼津市委託相談支援事業所として対応することで計画相談・障害児相談の件数が増加。結果として利用計画作成の業務が膨れ上がりその対応に追われてしまっている。本来の沼津市委託相談の役割である障害がある人の福祉に関する様々な問題に対する相談について迅速に対応することに支障をきたしている。
- ・令和3年度より沼津市基幹相談支援センターの直営設置が決定。直営設置であるが委託相談5支援センターからも職員1名が週1日出向となる。地域の相談支援の中核的な役割を果たす機関となるように連携協同していく。
- ・令和2年4月より配置職員がパート1名増。事業所内で業務の割り振りや役割分担をスムーズに行うことができた。
- ・静岡県障害児(者)地域療育支援センター事業の予算が令和2年度より3割減(輝望会は100万→70万程度)となり、必要な福祉サービスまでの繋ぎの部分や既存の福祉サービスで対応しきれない部分への対応が出来づらい状況となっている。静岡県障害児(者)地域療育支援センター事業については令和2年度末で委託を終了。
- ・令和3年度4月より沼津市地域活動支援センター事業:機能強化事業I型の委託開始。事業内容の整備や広報活動について少しずつ準備を進めていたが4月より本格的に始動する。
- ・障害支援区分認定調査は新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、対象者宅への訪問に躊躇することが多かった。
- ・課題は多いが地域の相談支援事業所としての役割を意識し、幅広い視野を持ちながら事業所の体制を整えていくことができるよう努めていきたい。

<サポートセンターこげら令和3度 委託費・支援費合計見込み>

沼津市委託相談:約650万円、地域活動支援センター:約490万円、計画相談(250件程度):約750万円

合計:約1890万円

#### 1 4. なのはな相談室事業報告

1. 相談実績(ケース対応数): 846件 <令和2年4月～令和3年3月末>

#### 2. 事業内容・実績

1) 駿東田方圏域及び賀茂地区自立支援協議会スーパーバイザー事業

- ・圏域協議会の運営部会、全体会等への参加：6件
- ・各圏域専門部会の活動支援：7件
- ・地域協議会への活動支援：7件
- ・静岡県健康福祉部障害者支援局との連絡調整：10件
- ・人材育成研修等の企画・主催：1件

2) 特定障害者相談・障害児相談

- ・サービス等利用計画および障害児支援利用計画作成：123件
- ・モニタリング：177件
- ・地域生活支援事業：546件

	サービス等利用計画	モニタリング	相談・支援事業
児童	117	159	/
特定	6	18	
計	123	177	546

3) その他

- ・伊豆の国市自立支援協議会 「相談支援事業所部会」：20回  
「地域生活支援部会」：3回  
「運営会議」：1回  
「全体会」：1回
- ・伊豆の国市要保護児童・DV被害者等対策地域協議会  
「実務者会議」：5回
- ・発達の気になる子どもの支援会議：1回
- ・駿東・田方圏域重症心身障害児(者)拡大ネットワーク会議：1回

#### 3. 現状と課題

・伊豆の国市の地域生活支援事業、特定相談支援・障害児相談支援(計画相談)を受け沼津市、三島市、函南町、伊豆市等の範囲で行う。また、静岡県圏域スーパーバイザー設置事業を受託し、駿東田方圏域、賀茂圏域の自立支援協議会の運営にあたっている。

・伊豆の国市児童発達支援センターが地域に根ざしていく中での相談内容として、小学校に就学してから以降の不登校となる児童の相談件数が増加傾向であり、発達障がいや学習不振が不適應の背景の1つとして、考えられるケースが出てきている。

・令和3年4月、伊豆の国特別支援学校の開校に伴い、市内の放課後等デイサービスの事業所が3つから5つに増えたが、変わらずサービス利用希望者が多い。放課後等デイサービスを利用し、社会性を学ぶ機会となっているが、家族の子どもに対する特性理解、親子関係の築き方が難しく、家族サポート支援の観点から、福祉サービスの利用だけでなく、親の子どもへの関わり方も課題となっている。そこで、昨年度はコロナ禍で保護者を対象とした学習会が開催できなかったが今年度は「ペアレントトレーニング」等を実施することで、保護者の子どもへのより良い関わり方を学べるよう計画していきたい。



## 令和2年度 きぼう青年学級 活動実績報告

(事業の概要)

- ・沼津市内在住で、主に就労している知的障害者に対し、スポーツ・文化等の余暇的活動を提供し、仲間作りと社会参加の促進を図っていく。

	開催日	内容	参加学級生数	参加職員数	ボランティア
第1回	7/19(日)	開講式 (ボーリング)	24名	9名	0名
様子・・・1名バスに乗り遅れたとのことで、少し遅れて直接ボーリング場に来たが、全体的には特に問題なく実施することが出来た。 学級生も途中で体調不良を起こしたり、怪我をしたりすることもなかった。					
第2回	8/2(日)	カルチャー (マジック)	18名	3名	1名
様子・・・当日は沼津奇術研究会から山下様・渡辺様がマジックを披露してくださった。マジックショーの前に会長の山本様からいくつか注意事項があったが、学級生は注意事項を守りながらマジックショーを楽しまれていた。					
第3回	11/15(日)	会食 くじ引き大会	17名	4名	1名
様子・・・「大学で学ぼう」の予定だったが、コロナの関係で「大学で学ぼう」が開催されない為、今回はサンウェル沼津をお借りして、くじ引き大会と会食としてお弁当を食べることとなった。					
第4回	12/15(日)	映画鑑賞	12名	3名	1名
様子・・・映画は「ドラえもんスタンドバイミー2」を鑑賞する。学級生全員映画の上映中、静かに映画を鑑賞されていた。映画に感動したと上映後、学級生から話があった。					

<今年度の反省>

- ・令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、スタートが7月からとなった。7月と8月で2回行事を行ったが、コロナの状況悪化もあり、しばらく行事を中止させていただいた。11月に再開したものの、再び状況が悪くなり、結局それ以降の行事はすべて中止することとなった。(令和2年度は4回のみ開催)

<来年度への課題>

- ・令和3年度も今年度と同様に、例年通り開催することが困難な状況が続くことが予測される。現在、沼津市の担当職員と相談をしながら来年度の開催方法を検討しているが、行事内容や回数等は制限する必要がある。

## 令和2年度「地域公益事業」(スポレク・音楽療法) 事業報告

### 1 目的

- ・社会福祉法人としての公益事業の一環とする。
- ・音楽療法とスポーツレクを通して、地域の方のニーズに応える。

### 2 法人運営の意味

平成20年から平成26年度までは、あしたか学園の独自の事業として運営をしてきたが、27年度からは、法人の地域における公益的な取り組みとしての事業となった。平成28年改正法に伴い、「社会福祉法人の地域における公益的な取り組み」に係る責務について、この事業を通じ、社会福祉法人としての果たすべき役割を明確にしていく。

### 3 担当職員

事業名	担当職員	講師
音楽療法	池田 渚 (あしたか学園) 柴田 千風優 (のぞみの里) 10月より 古南 俊雅 (こころみファーム)	山崎先生 *ボランティア
スポーツレク	西村 由合 (あしたか学園) 木本 大輔 (のぞみの園)	水野先生 *ボランティア

### 4 年間予定

日程	音楽療法	参加人数	スポーツレク	参加人数
第1回委員会	コロナ感染症の為開催を延期し、7月実施			
第1回活動	9/19 (土)	5人	9/12 (土)	6人
第2回活動	11/14 (土)	6人	10/31 (土)	9人
第3回活動	※12月感染症流行のため中止		※12月感染症流行のため中止	
第4回活動	※1月感染症流行のため中止		※1月感染症流行のため中止	
第5回活動	※2月感染症流行のため中止		※2月感染症流行のため中止	

\*今年度は回数も少なく音楽療法、スポレクの担当で振り返りを実施。

## 令和2年度 事業報告

### 附属明細書

#### 1. 池谷常務理事が静岡県知的障害者福祉協会会長として参加した外部大会・会合等

4月7日	静岡県知的障害者福祉協会監事監査
4月9日	静岡県知的障害者福祉協会正副会長会議
7月3日	強度行動障害支援者養成研修打ち合わせ
7月7日	高尾園第三者委員会
7月27日	静岡県差別解消支援協議会
9月3日	東海地区施設長等WEB会議
10月8日	静岡県西部発達障害者支援センター開所式
10月21日	静岡県福祉部長懇談
10月30日	静岡県社会福祉協議会理事会
11月9日	東海地区会(ZOOM)
11月19日	浜松学園検討委員会
11月21日	東遠学園創立50周年式典
12月4日	静岡県障害者芸術祭出席
12月7日	静岡県福祉事業所等説明会(動画配信)
12月11日	東海地区施設長研修(WEB研修)
12月14日	愛護ギャラリー表彰式
1月8日	政策委員会(ZOOM)
1月22日	静岡県知的障害者福祉協会正副会長会議
1月28日	アスタ連絡協議会
2月4日	沼津特別支援学校評議員会
2月5日	磐田学園竣工式
2月16日	静岡県知的障害者福祉協会理事会(WEB)
2月25日	静岡県知的障害者福祉協会施設長研修(WEB)
3月11日	東海地区職員研修(WEB)
3月12日	静岡県社会福祉協議会理事会
3月19日	発達障害者支援地域協議会
3月25日	共生会理事会
3月26日	障害者施策推進協議会